OLYMPUS®

CAMEDIA

デ　ジ　タ　ル　カ　メ　ラ

C-2000ZOOM

取扱説明書

- このたびは、オリンパス デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの説明書をお読みください。
- 大切なもの（海外旅行など）をお撮りになる前には、試し撮りをすることをおすすめします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
尚、本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米マイクロソフト社の登録商標です。MacintoshおよびAppleは米アップルコンピューター社の登録商標です。その他全てのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格とは「Design rule for Camera File system／DCF」をあらわします。

- 説明文中の ⚠ 警告・ ⚠ 注意は、特に気を付けてお読みください。
- ☞はその他の留意事項を示しています。

本取扱説明書をお読みになる前に

- ❍ 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ❍ 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- ❍ 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- ❍ 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- ❍ 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- ❍ 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。
- ❍ 文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

オリンパス光学工業株式会社

安全にお使いいただくために

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を被るおそれがある内容を示しています。

⚠ 警告

1. フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して１m以内の距離で撮影しないでください。

2. 日光および強い光に向けて本製品を使用しないでください。目に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。

3. 可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

4. この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生のおそれがあります。

- **誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。**
- **電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。**
- **目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能な程の障害を起こす。**
- **カメラの動作部でけがをする。**

5. 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。
- ・このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
- ・電池をショートさせたり、加熱、分解および火の中に入れたりしないでください。
- ・古い電池と新しい電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混ぜて使わないでください。
- ・充電できないアルカリ電池、リチウム電池を充電しないでください。
- ・取り外した電池は幼児、子供の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- ・電池の＋－の極性を逆に入れないでください。

6. 湿気やほこりの多い場所にカメラを保管しないでください。火災や感電の原因となります。
7. フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また連続発光後、発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
8. 万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、速やかに電池を抜き、販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

1. 異臭、異常音、もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、最寄りの販売店もしくはオリンパスサービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。
2. 本製品の分解、改造はしないでください。感電やけがをする原因となります。
3. 長期間使用しない時は電池を取り出しておいてください。電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れる等の原因になります。
4. 電池の液漏れが起こったら使用しないでください。放っておくと、火災や感電の原因となります。販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。
5. 濡れた手で操作しないでください。感電の危険があります。
6. 異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。
7. 電池を使って長時間連続使用したあとは、電池をすぐにとり出さないでください。やけどの原因となることがあります。

ご使用の前に

お取り扱いについて

❖ 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので絶対に避けてください。
・直射日光下や夏の海岸など
・高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
・砂、ほこり、ちりの多い場所
・火気のある場所
・揮発性物質のある場所
・冷暖房器、加湿器のそば
・水に濡れやすい場所
・振動のある場所
・自動車の中

❖ カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

❖ レンズを直射日光に向けて放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

❖ 長時間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には作動点検をされることをおすすめします。

❖ 三脚につける場合、デジタルカメラを回して取り付けないでください。

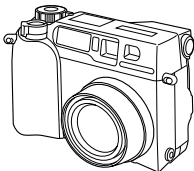
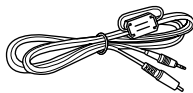
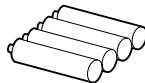
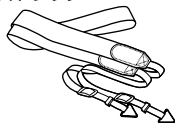
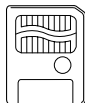
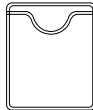
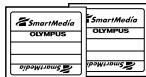
❖ 本体の電気接点部には触れないでください。

❖ フラッシュを短時間に何度も発光させると、発光部の温度が上がることがありますので、直接手を触れないでください。

❖ レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

- 電池は単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本を使用します。
- 撮影条件、使用環境及び電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- オリンパス製ニッケル水素電池をおすすめします(充電器セット B-30S／B-31S)。繰り返し使用でき経済的です。また、低温時のご使用にも有効です。
- アルカリ電池は使用できますが、電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池に比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらすおそれがあります。
- 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液漏れ・発熱・破損の原因となります。交換するときは、＋－の向きに注意して正しく入れてください。
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
- ニッケル水素電池およびニッカド電池を使用の場合は、必ず電池で指定された充電器で完全に充電してからお使いください。
- ニッケル水素電池およびニッカド電池をご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。ニッカド電池を捨てる際は、地域の規定に従って処分してください。

中身を確認しましょう（同梱品）

主な特長

■ 高画質211万画素CCD(総画素数)と高性能ズームレンズで、クラス最高レベルの画像が得られます。

■ 3倍ズームレンズと2.5倍デジタルテレモード＊で7.5倍ズーム相当の撮影が可能です。

■ 枚数を気にせず撮影できる、リムーバブルメモリのスマートメディアを採用(パノラマ機能付)。

■ ビデオ出力端子付で、画像のテレビ再生も楽しめます(NTSC方式)。＊＊

■ 別売の機能付スマートメディアを使って合成画像も簡単に作れます。

■ 別売の専用プリンタでダイレクトプリント可能。システムの拡張も楽しめます。

■ 光学ファインダーに加え、1.8インチ高精細液晶モニタもファインダーとして使えます。

■ 電池駆動、軽量、コンパクトサイズで携帯性に優れています。

■ 書き込み時間の短縮により、シャッターチャンスを逃しません。

■ 別売のコンバージョンレンズアダプタ CLA-1により、コンバージョンレンズの取り付けが可能です。

＊　デジタルテレモードは標準画質(SQ)モード(VGA/XGA)でのみご使用いただけます。
＊＊ 海外では地域によりご利用になれません。

デジタルカメラを使った楽しみ方

機能付スマートメディアを使えば

オリンパスのスマートメディア(カード)を使えば、通常の記録だけでなく、下記の機能もお楽しみいただけます。

❍ **パノラマ合成機能**
標準カード(パノラマ合成機能付)(8MB=同梱/2・4・8・16・32MB=別売)とパソコン接続キットC-6KP(別売)のCAMEDIA Masterを使ってパノラマ合成画像作成

❍ **合成テンプレート機能**
テンプレートカードM-4T(4MB=別売)を使って合成画像作成

❍ **カレンダー機能**
カレンダーカードM-4C(4MB=別売)を使ってカレンダー画像作成

❍ **手書きタイトル機能**
手書きタイトルカードM-4N(4MB=別売)を使ってタイトル入り画像作成

＊合成テンプレート機能、カレンダー機能、手書きタイトル機能は、モードダイアルが「**P**」の時のみお使いいただけます。又、撮影時に露出値、絞り値、シャッタースピードの表示は出ません。

専用プリンタP-330／P-300／P-150(別売)を使えば

❍ パソコンなしでも画像をプリントアウト
❍ 日付入り印刷も思いのまま
❍ 機能付スマートメディア(別売)で作った画像をプリントアウト
❍ 16分割シールペーパープリントも簡単
❍ 転写プリントで左右反転の印刷にも対応
❍ P-330はカードから、又P-300/P-150はカメラからダイレクトプリントできます。

パソコンに接続すると

❍ パソコン接続キットC-6KP(別売)のCAMEDIA Masterを使ってデータを加工・保存、プリントアウトしたり、パノラマ合成画像の作成ができます。なお、お手持ちのC-KP/C-2KP/C-3KP/C-4KP/C-5KPのソフトではご使用になれません。

その他にも

❍ 通信アダプタT-100HS(別売)にモデムカードを組み合わせて、携帯電話から画像を伝送できます。
❍ テレビに接続して、大きい画面で画像を見ることができます。

目 次

再生機能

設定をしましょう

印刷してみましょう1(スマートメディアからの印刷)

印刷してみましょう2(ダイレクトプリント)

画像をとりこみましょう

その他

各部の名称

コントロールパネル(P.14参照)
セルフタイマー／リモコンシグナル(P.42参照)
リモコン受信窓(P.43参照)
ズームレバー(P.29/53参照)
フラッシュ(P.34参照)
視度調整ダイヤル(P.24参照)
コネクターカバー
R
PUSH
TO
EJECT
レンズ
DC入力端子
(P.17参照)
ビデオ出力端子
(P.54参照)
データ入出力
端子
(P.69/80参照)
外部フラッシュシンクロ端子
(P.38参照)
カードカバー(P.18参照)
コネクターカバー

液晶モニタ ON/OFFボタン(P.26参照)／
1コマ消去ボタン(P.51参照)
十字ボタン(P.20参照)
メニューボタン
(P.31/55参照)
ファインダー
(P.14参照)
OKボタン(P.51参照)／
プリント予約ボタン
(P.65参照)
液晶モニタ(P.14参照)
広角(ワイド)／
インデックスディスプレイ
ズームレバー(P.29/53参照)
望遠(テレ)／クローズアップ再生
シャッターボタン
(P.24参照)／
プロテクトボタン
(P.50参照)
モードダイアル
(P.20/49参照)
パワーボタン
(P.19参照)
POWER
SETUP
SETUP(P.58参照)／
外部接続(P.69参照)
再生(P.49参照)
プログラム(P.20参照)
絞り優先(P.20参照)
シャッター優先(P.20参照)
電池カバー
(P.16参照)
PUSH
LR6X4
三脚穴

ファインダー部

液晶モニタ部(再生時)

コントロールパネル部

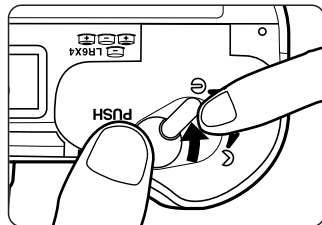
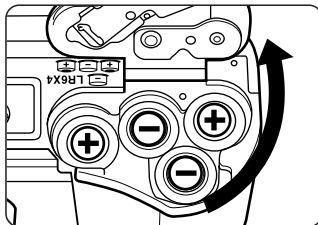
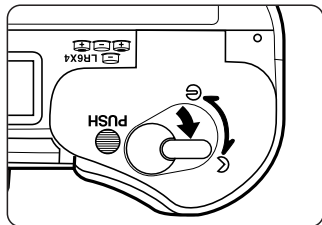
準備をしましょう

ストラップ・カメラケースの使い方

⚠ 注意

◆上記にしたがって正しい取り付けを行ってください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とした場合、損害等一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

電池を入れます

電池は単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本を使用します。

1 電源がオフになっている(コントロールパネルが消灯で、レンズが出ていない)ことを確認します。
2 電池カバーの開閉つまみを ⊋ 側にまわします。

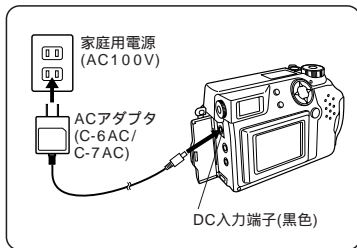
3 電池カバーを開けます。
4 図のように電池の向きを正しく合わせて入れ、電池カバーを閉めます。

5 閉めるときは ⊜ 部を強く押し、レバーをまわしてください。フタが浮いた状態ではレバーがまわりません。また電池カバーの端部を押すと、閉まりにくくなることがあります。
6 開閉つまみを ⊖ 側にまわします。

⚠ 注意

- ◆ **アルカリ電池は性能のバラツキが大きく、特に低温では劣化します。ニッケル水素電池のご使用をおすすめします。**
- ◆ **マンガン電池は使用できません。電池に関するご注意をお読みください。(P.6参照)**
- ◆ **電池を外した状態で内部をさわらないでください。**

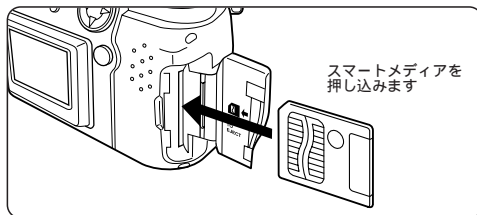
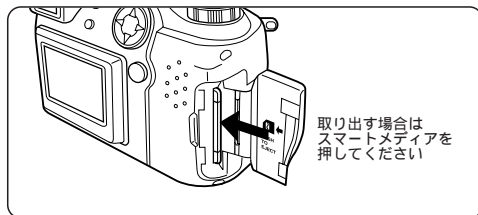
家庭用電源の使い方

別売の専用ACアダプタ(C-6AC/C-7AC)で、家庭用電源(AC100V)から電源を取ることができます。

◆ **ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。**

⚠ 警告

火災・感電・やけどのおそれがあります。

- ◆電源は必ずAC100Vをご使用ください。
- ◆専用ACアダプタ(C-6AC/C-7AC)は、日本国内でのみ使用可能です。外国では使用しないでください。
- ◆ACアダプタのプラグの差し込みが不完全な状態では使用しないでください。
- ◆濡れた手でのACアダプタのプラグの抜き差しは絶対にしないでください。
- ◆万一ACアダプタやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が発生した場合、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。また、直ちに販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- ◆専用のACアダプタ(EIAJ規格・極性統一型プラグ付)以外は絶対に使わないでください。カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた障害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って抜いてください。
- ◆ACアダプタのコードを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、継ぎ足したりすることは絶対にやめてください。
- ◆ACアダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があったりした場合は、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ACアダプタを接続したり外したりする場合は、必ず本体の電源がOFFになっていることを確認してください。(カメラに電池が入っている場合も同様です。)
- ◆使用しないときは、必ずACアダプタをコンセントから外してください。

スマートメディアをセットします

1 カードカバーを開けます。
2 スマートメディア(以下カードといいます)を図示の方向に押し込みます。
❍ カードの向きにご注意ください。
3 カードカバーを閉めます。
❍ 機能付スマートメディア(別売)を使用する場合も同様に差し込みます。
❍ 市販の5Vカードは使用できません。当社カードまたは市販の3.3Vカードをご使用ください。
❍ 市販の3.3Vカードをご使用の場合、カメラでの初期化をおすすめします。

カードの取り出し方
1 電源をOFFにしてください。
2 カードカバーを開け、カードを押すと飛び出します。

⚠ 注意

- **デジタルカメラ作動中には、絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。**
- **カードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。**
- **カードのコンタクトエリアには直接手を触れないでください。**

電源を入れます

1 レンズキャップを外します。

2 パワーボタンを押して電源を入れると、撮影モードでは、コントロールパネルに電池残量が表示され、同時にレンズが前面へ移動します。

❍ もう１度パワーボタンを押すと、コントロールパネルの表示が消え、レンズが収納位置に戻り、電源が切れます。

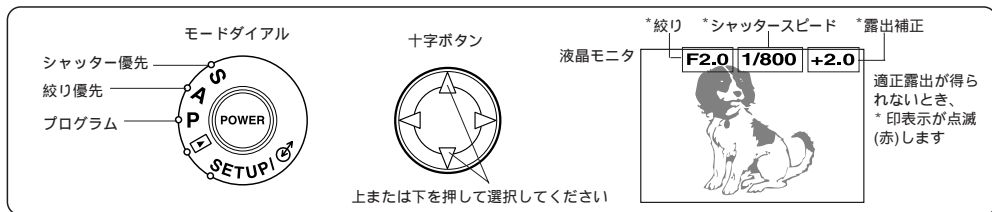
コントロールパネル

電池残量の目安は次のように表示されます。

電池残量表示の状態	意味
が点灯。（自動的に消えます。）	電池の残量は十分です。撮影できます。
が点滅し、コントロールパネルの他の表示は通常通り点灯。	電池の残量が少なくなりました。新しい電池と交換してください。
が点滅し(12秒後に消灯)、パネルの他の表示は消灯。	電池の残量がなくなりました。新しい電池と交換してください。

- **必ずレンズキャップを外してから電源を入れてください。**
- **長期の旅行、大切な行事、寒冷地での撮影などには予備の電池をご用意になるか、充電できるニッケル水素電池(別売)のご使用をおすすめします。(P．6参照)**
- **なにも操作をしないまま3分経過すると、パワーセーブ機構が働き、コントロールパネルの表示が消えます。パワーボタンを押すかズームレバーを操作すると、表示が再び点灯します。なお、約4時間たつと自動的に電源が切れますが、しばらく撮影しないときはできるだけ電源を切っておいてください。（新品電池をお使いの場合は、電池の種類によりこの時間が長くなる場合があります。）**
- **電源を切ったり、電池の交換を行っても、撮影した画像は保存されます。**
- **電池を使用して電池の寿命末期に撮影した場合、撮影後または電源を入れたときに「ピピッ　ピピッ　ピピッ」と連続して警告音が鳴り、コントロールパネルのコマ番号が点滅することがあります。このような場合は撮影が正常に行なわれておりません。新しい電池に交換のうえ再度撮影を行なってください。**

撮影しましょう

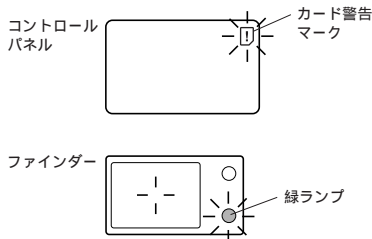
撮影モードを選択します

撮影の方法や状況に合わせて、モードダイヤルで3つの撮影モード「**P**」(プログラム)、「**A**」(絞り優先)、「**S**」(シャッター優先)の中から選択できます。

「P」(プログラムモード)
ピント合わせや露出などが、状況に合わせて自動的に設定されます。シャッターを押すだけで、簡単にきれいな画像を撮影することが出来ます。

「A」(絞り優先モード)
絞り値を選択出来ます。シャッタースピードはカメラが自動的にコントロールします。絞り値を変えることによって背景の描写に変化をつけることが出来るので、背景を生かした記念撮影や、背景をぼかしたポートレートなどの撮影に便利です。

「S」(シャッター優先モード)
シャッタースピードを選択出来ます。絞り値はカメラが自動的にコントロールします。動体を止めて写したいときには高速側に、動体の軌跡を写したいときには低速側にセットして撮影します。

選択のしかた

1. 「**S**」(シャッター優先)・「**A**」(絞り優先)を選択すると、液晶モニタが自動的にONになります。シャッター優先は「**1/2秒**」(内部フラッシュ使用時は手ぶれ限界速度)から「**1/800秒**」の間で選択でき、絞り優先はワイドの時は「**F2.0**」から「**F11**」の間で、テレの時は「**F2.8**」から「**F11**」の間で選択できます。液晶モニタを見ながら十字ボタンの上(下)矢印を押して選択してください。

2 撮影モードを選択すると、自動的にカードチェックが行われます。

カードに問題がある場合 (カードが入っていない時/プロテクトされて書込不能の時) は「ピー」という音が鳴り、コントロールパネルのカード警告マークとファインダー横の緑ランプが点滅します。

◆ **カードに初期化が必要な場合はコントロールパネルのカード警告マークが点灯し、初期化モードに入ります。(P.62参照)**

警告／ 液晶モニタ表示	**エラー内容**	**対　応**
カード無し警告 NO CARD	カードが入っていません。又は、認識しません。	カードを入れてください。又は、カードを入れなおして下さい。
カードフル警告 CARD FULL	撮影可能枚数が0のため撮影できません。	カードを交換するか、不要なコマを消去して下さい。
ライトプロテクト警告 WRITE-PROTECT	カードが書き込み禁止になっています。	撮影をする場合はプロテクトシールをはがしてください。
カードエラー警告 CARD ERROR	撮影・再生・消去する事が出来ません。	クリーニングペーパーでカードの端子を拭き、もう一度挿入して下さい。初期化出来ない場合、このカードはご使用になれません。

撮影可能枚数をチェックします

撮影モードでカメラの電源を入れると、コントロールパネルに撮影可能枚数が表示されます。

❍ 撮影可能枚数が0になると「ピー」という音が鳴り、緑ランプが点滅し、液晶モニタには「**CARD FULL**」と表示されます。再度電源を入れたときも同じです。

❍ 撮影可能枚数は設定画質モードによって変わります。

❍ 画質モードの設定はP.48をご覧ください。

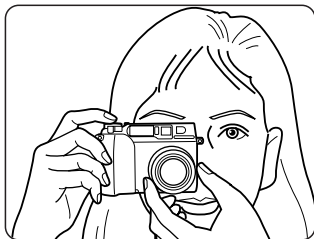
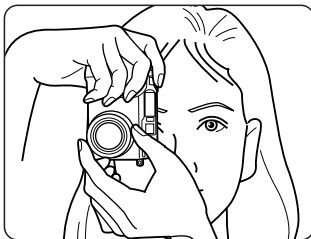
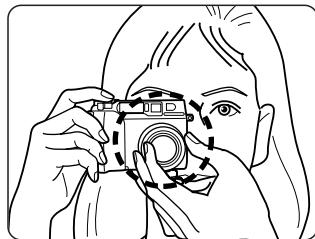
撮影可能枚数

画質モード	標　準		高画質		
	SQ		HQ	SHQ	
画素数	640x480	1024x768	1600x1200		
スマートメディアの記憶容量 ＼ File	JPEG		JPEG	JPEG (低圧縮)	TIFF (非圧縮)
2MB	30枚以上	9枚以上	3枚以上	1枚	0枚
4MB	60枚以上	19枚以上	7枚以上	3枚	0枚
8MB	122枚以上	38枚以上	15枚以上	7枚	1枚
16MB	244枚以上	78枚以上	32枚以上	16枚	2枚
32MB	489枚以上	156枚以上	64枚以上	32枚	5枚

☞

◆撮影毎にカウンタが減らなかったり、1コマ消去しても増えない場合があります。
◆撮影対象によりデータ量が異なる為、撮影可能枚数よりも多く撮影できることがあります。
◆撮影前に日時を設定しておきましょう。(P.64参照)

カメラに慣れましょう

カメラの構え方

よこ位置

たて位置

悪い例

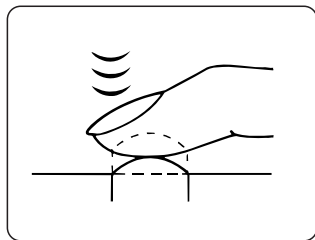
❍ 両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。

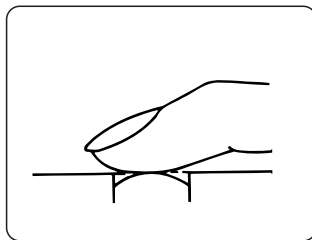
⚠ 注意

◆レンズに無理な力を加えないでください。

☞

◆レンズ、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。

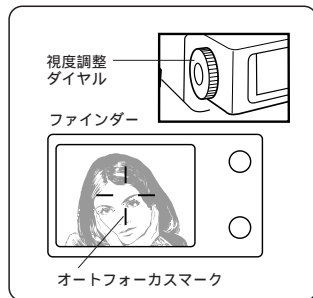
シャッターボタンの押し方

1 軽く押すと・・・（半押し）

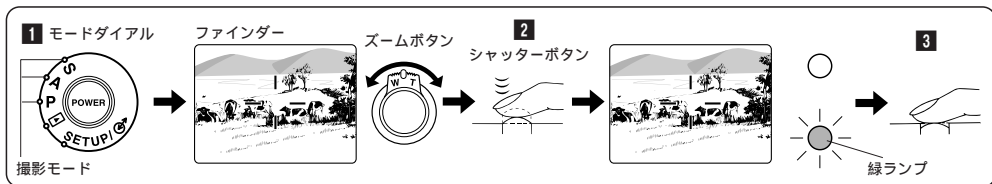
❍ ファインダー横の緑ランプが点灯します。
❍ この時露出とピントが固定されます。

2 さらに押し込むと・・・（押し切り）

❍ 撮影が行われピピッと音がします。
❍ カードへの書込中はファインダー横の緑ランプが点滅します。

☞

> **◆シャッターボタンは静かに押してください。**
> **シャッターボタンを押すときにカメラが動くと、写真がぶれる原因となります。**
> **◆ファインダー横のオレンジランプが点滅した時には、フラッシュを使用してください。(P.34参照)**

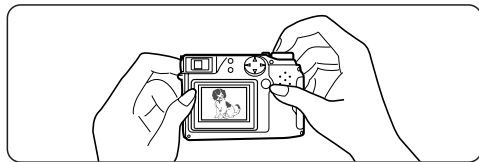
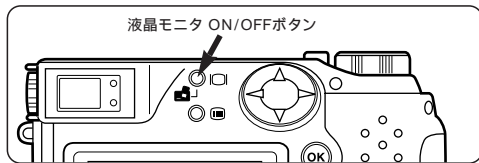
視度の合わせ方

1 視度調整ダイヤルをまわし、オートフォーカスマークが鮮明に見える位置に合わせます。

写します

光学ファインダーを使った撮影のしかた

1 撮影モード(モードダイアル「**P**」/「**A**」/「**S**」設定)にしてファインダーをのぞき、ズームボタンを操作して、構図を決めます。
2 シャッターボタンを半押しすると、ファインダー横の緑ランプが点灯します。
3 そのままシャッターボタンを押し切ります。
4 「ピピッ」と音が鳴れば撮影完了です。

5 ファインダー横の緑ランプの点滅が終わると、次の撮影に入れます。
❍ 緑ランプの点滅は、画像を処理していることを表しています。ランプの点滅中にシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。(緑ランプの点滅時間は画質モード等により異なり、約2〜43秒以内に終わります。)
❍ ファインダー横のオレンジランプが点滅したときは、フラッシュが充電中です。点灯してからシャッターボタンを押して下さい。

⚠ 注意

◆ **緑ランプの点滅中には、絶対にカードカバーを開けたり、電池やカードを抜いたり、電源プラグを抜いたりしないでください。今撮影した画像が記録されないだけでなく、記録済みの画像が破壊される恐れがあります。**

液晶モニタを使った撮影のしかた

1 撮影モード「**P**」で液晶モニタON/OFFボタンを押して、液晶モニタを点灯させます。

❍ 再度ボタンを押すとモニタは消灯します。

2 液晶モニタを見ながら構図を決めます。

3 ファインダーを使った撮影と同じ手順で撮影してください。(P.25参照)

4 撮影後、撮影画像のモニタ表示が消え、ファインダーからのスルー画が表示されると次の撮影に入れます。

◆液晶モニタの再生画像は構図確認のためのもので、ピント・露出等の詳細な状態を表示できるものではありません(ファインダーとして利用時及び、モニタ再生時共に)。特に大切なシーンの撮影では、必ずパソコンの画面で確認をしてください。

◆液晶モニタを使って撮影した場合は使わない時よりも書き込み時間が長くなります。

◆被写体が斜めの時、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。

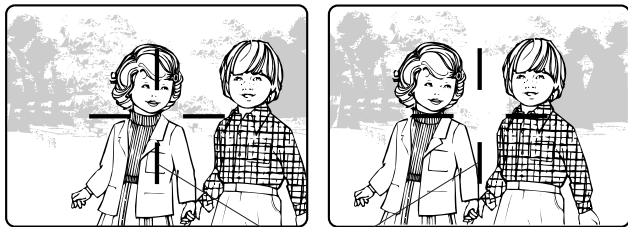
◆晴天下のように明るい場所で撮影した時、わずかに縦スジ(スミア)が入る場合があります。

◆液晶モニタを見ながらの撮影も可能ですが、ファインダーからのぞくほうがカメラぶれは起こりにくく、楽に撮影ができます。また、ファインダーを使用した方が電池を消耗せず、より長時間の撮影が可能となります。

◆ファインダー、液晶モニタのどちらを使っても、構図よりやや広い範囲が撮影されます。

フォーカスロック

ピントを合わせたいものがオートフォーカスマークから外れる場合は、以下の操作(フォーカスロック)をします。

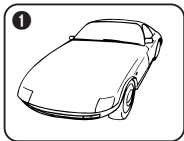
ファインダー

オートフォーカスマーク

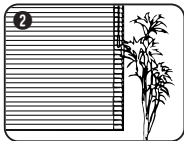
1 写したいものにオートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

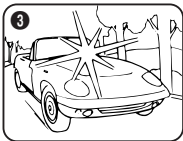
❍ フォーカスロックされると、ファインダー横の緑ランプが点灯します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま写したい構図に変えて押し切ります。

ピントの合いにくいもの (オートフォーカスの苦手な被写体)

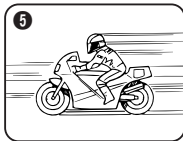
ほとんどの被写体に対してオートフォーカスが可能ですが、以下❶〜❸のような条件ではピントが合わない時があります。また、❹、❺のような被写体では、ファインダー内の緑ランプが点灯し、シャッターが切れてもピントが合っていない時があります。その場合は以下の方法または、マニュアルフォーカス(P. 41)で撮影してください。

コントラストのない被写体

❍ 被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

縦線のない被写体

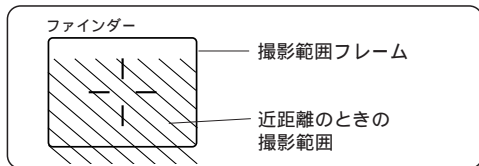
❍ カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後構図を横にもどして撮影してください。

画面中央に極端に明るいものがある被写体

❍ 被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

遠いものと近いものが共存する被写体

❍ オートフォーカスして緑ランプが点灯しても撮影したい被写体がぼけているときは、同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから構図を決めて撮影してください。

動きの速い被写体

❍ あらかじめ撮影したい被写体と同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから、構図を決めて撮影してください。

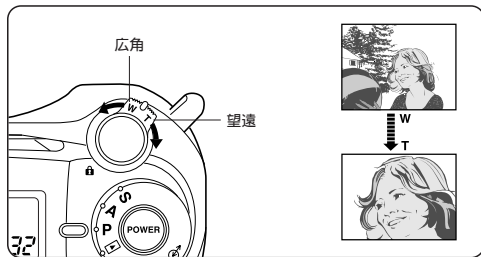
撮影距離

撮影範囲フレームは∞（無限遠）時に写る範囲ですが、撮りたいものまでの距離が近づくにつれて写る範囲が下に移動します。
(ズームを望遠側へ回すと移動量は大きくなります。)

撮影は 0.2 m ～ ∞ (無限遠）の範囲で行ってください。

❍ 0.2 mより近い距離でもシャッターは切れますが、ピントと露出が合わないことがあります。
❍ 近距離での撮影は、液晶モニタをファインダーとして使用することをおすすめします。撮影する絵がモニタに表示されますので、撮影が容易にできます。
❍ 液晶モニタを使用すると電池消耗が早くなります。

撮影距離

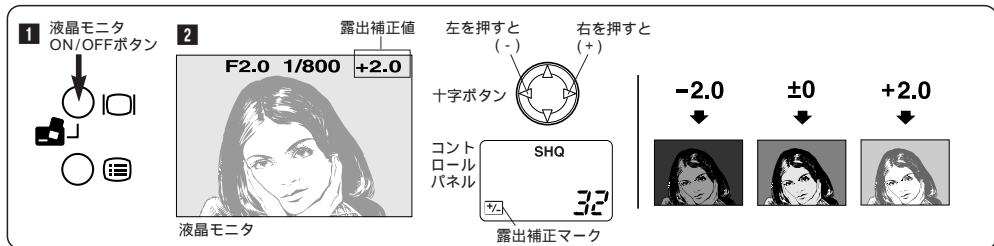
マクロモード	0.2 m ～ 0.8 m (P.40参照)
通常モード	0.8 m ～ ∞

ズーム

3倍ズームで望遠や広角撮影ができます。

ズームレバーを **T** 側へ回すと望遠になります。

ズームレバーを **W** 側へ回すと広角になります。

◆ 2.5倍デジタルテレモードと組み合わせると、7.5倍ズーム相当の撮影が可能です。(P.46参照)

露出補正

自分で露出を補正できます。

露出は撮影時に自動的にセットされますが、+/−2段の範囲で約1/3段刻みの補正が可能です。

白の多い被写体には+の、黒の多い被写体には−の補正を入れると効果的です。

1 撮影モードで液晶モニタON/OFFボタンを押して、液晶モニタを点灯させます。

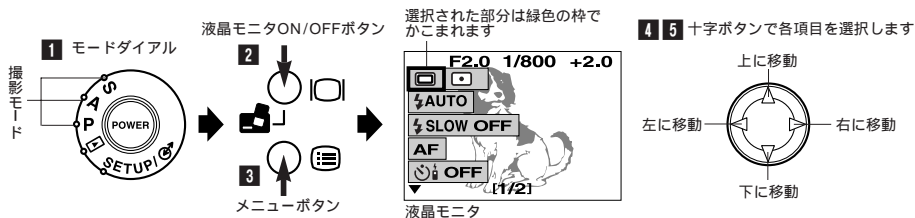
2 液晶モニタを見ながら十字ボタンの左（右）矢印を押して、補正値を選択します。右矢印を押すと（+）に、左矢印を押すと（−）に補正されます。

❍ 0以外の設定をすると、コントロールパネルに露出補正マークが表示されます。

☞

◆ 露出補正をすると液晶モニタの明るさも変わりますが、うす暗い被写体では変化しにくくなります。その時は撮影画像を再生してご確認ください。

◆ フラッシュ撮影時は狙いどおりの補正ができない場合があります。

メニューモードの切り替え

1. 撮影モード(モードダイアル「**P**」/「**A**」/「**S**」設定)にします。
2. モードダイアルが「**P**」の時は、液晶モニタON/OFFボタンを押してONにします。
3. メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。
4. 十字ボタンの上（下）矢印を押して、設定項目を選択します。
5. 十字ボタンの右（左）矢印を押して、設定値を選択します。

◆各項目設定後にOKボタンを押さずに撮影するとそのときの設定で撮影できます。OKボタンを押すと各設定は保存され、メニューモードから抜けます。（セルフタイマー/リモコンモードでは、設定後１回撮影するとリセットされます。）

◆メニュー表示中にメニューボタンを再度押すと、メニューモードから抜けます。このとき現在の設定は無効となります。

◆電源を切ると、フラッシュモードと画質モードを除く各設定は解除され、初期設定に戻ります。

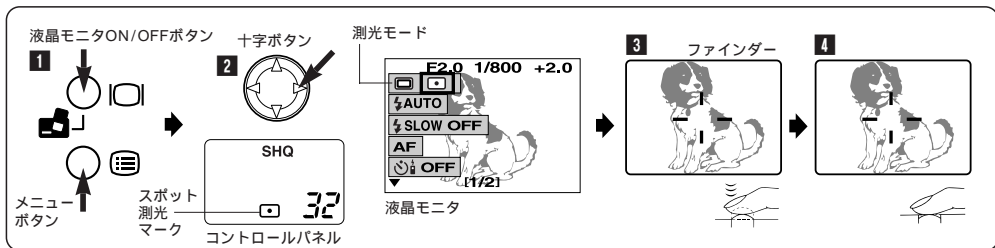
液晶モニタONの時(P.26参照)

設定項目	機能・目的
測光モード	スポット測光使用時に。(P.33)
フラッシュ撮影	フラッシュのモードを選択。(P.34～37)
スローシンクロ	夜景が撮影できます。(P.39)
フォーカス	マクロモード(P.40)、マニュアルフォーカス(P.41)使用時に。
セルフタイマー/リモコン	セルフタイマー/リモコン使用時に。(P.42/43)
ファンクション	連写(P.44)、カード機能(P.45)使用時に。
デジタルテレモード	1.6倍/2倍/2.5倍の大きさに写せます。(P.46)
ホワイトバランス	昼光/曇天/白熱球/蛍光灯に対応。(P.47)
ISO	感度を設定。(P.47)
画質モード	SQ/HQ/SHQを設定。(P.48)

液晶モニタOFFの時
(コントロールパネルにアイコンが表示されます。)

設定項目	機能・目的
測光モード	スポット測光使用時に。(P.33)
フラッシュ撮影	フラッシュのモードを選択。(P.34～37)
セルフタイマー/リモコン	セルフタイマー/リモコン使用時に。(P.42/43)
ファンクション	連写(P.44)、マクロモード(P.40)、カード機能(P.45)使用時に。
画質モード SQ HQ SHQ	SQ/HQ/SHQを設定。(P.48)

❍ 設定項目のアイコンが点灯したとき、その機能が選択されています。アイコンが点滅しているときは選択されていません。

スポット測光

写したいものに確実にピントと露出を合わせたい時に使います。

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押すと、「 」が選択されます。

❍ 液晶モニタがOFFの時はコントロールパネルをご覧ください。

2 十字ボタンの右矢印を押して、「**スポット測光** 」を選択します。

❍ コントロールパネルにスポット測光マークが表示されます。

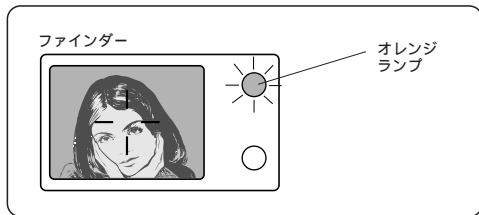
❍ 「 」を選択すると、スポット測光は解除されます。

3 写したいものにオートフォーカスマークの中央部を合わせ、シャッターボタンを半押しします。

❍ 緑ランプが点灯しオートフォーカスマーク中央部にピントと露出が固定されます。

4 シャッターボタンを半押ししたまま写したい構図に変えて押し切ります。

❍ 31ページの注意をお読みください。

フラッシュ撮影

本機にはフラッシュが内蔵されており、様々な撮影シーンに応じたフラッシュのモードを選ぶことが出来ます。

❍ フラッシュモードの切り替えは37ページをご覧ください。

1 フラッシュが必要なときには、ファインダー横のオレンジランプが点滅します。

2 シャッターボタンを半押ししたときにファインダー横のオレンジランプが点灯していれば、フラッシュが発光します。

フラッシュ撮影可能範囲

広角時 : 約0.8 〜 5.6m

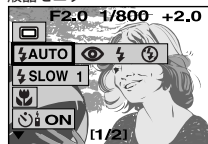
望遠時 : 約0.2 〜 3.8 m

◆オレンジランプが点滅している時はフラッシュ充電中のため、シャッターが切れません。数秒待ってから撮影してください。

◆マクロ撮影時、特にズームが広角の時は、画像がけられたり光量ムラが発生することがありますので、ご注意ください。撮影後は必ず液晶モニタで確認して下さい。

◆外部フラッシュの使用方法は、P.38をご覧下さい。

オート発光

液晶モニタ

コントロールパネル

暗い時や逆光の時、フラッシュが自動的に発光します。

逆光自動補正マーク

逆光の被写体を撮影するときは、被写体を逆光自動補正マークに合わせて撮影してください。

◎ 赤目軽減発光

目が赤く写る現象を軽減します。

本発光の前に10数回予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。予備発光をする以外はオート発光と同じです。

- ◆**シャッターが切れるまで約1秒かかりますので、カメラをしっかり構えてください。**
- ◆**以下の場合は、赤目軽減の効果が現れにくくなります。**
  - ●**フラッシュを正面から見ていない場合**
  - ●**予備発光を見ていない場合**
  - ●**被写体までの距離が遠い場合**
  - ●**個人差による場合**

強制発光

必ず発光させたいときに。

強制発光はフラッシュを常に発光させるモードです。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときなどに使います。

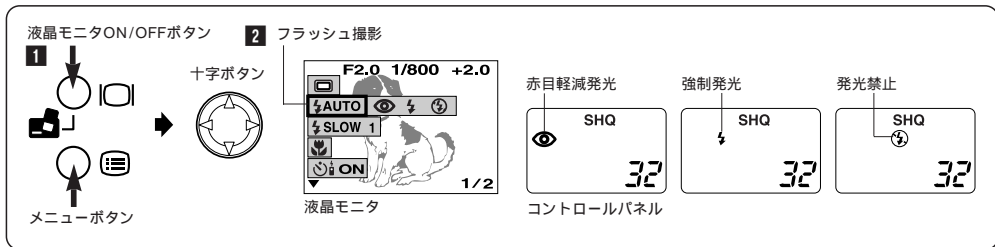
◆フラッシュ撮影可能範囲(P.34)内で撮影してください。かなり明るい状況下では効果があらわれにくくなります。

発光禁止

暗いところでも発光させたくない時に。

このモードでは暗くてもフラッシュは光りません。フラッシュを使えない美術館や夕景、夜景などで撮影するときに使います。

◆シャッタースピードが最長1/2秒まで延長されますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。動く被写体はぶれて写ります。

フラッシュモードの切り替え方

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して「 AUTO 」を選択します。

❍ 液晶モニタがOFFの時はコントロールパネルをご覧ください。

2 十字ボタンの右(左)矢印を押して行き、

「**オート発光** AUTO 」(P.35)、

「**赤目軽減発光** 」(P.35)、

「**強制発光** 」(P.36)、

「**発光禁止** 」(P.36) の中から選択します。

❍ オート発光以外を選択すると、コントロールパネルにフラッシュモードが表示されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

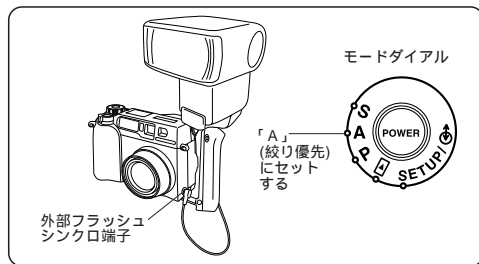
外部フラッシュ接続のしかた

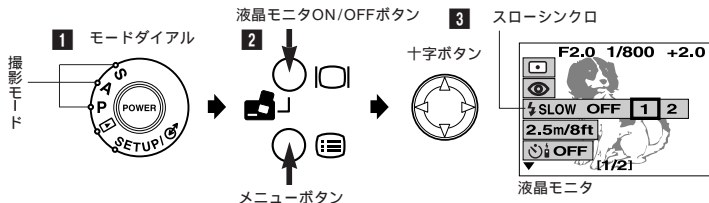
1 外部フラッシュをグリップに取り付け、三脚穴に固定させてから、シンクロコードをカメラの外部フラッシュシンクロ端子に接続します。取り付けられない外部フラッシュはご使用になれませんのでご注意ください。

2 カメラの電源を入れ、モードダイアルを「**A**」(絞り優先)にセットすると、液晶モニタが自動的にONになります。(P.26参照)

3 外部フラッシュの電源を入れます。外部フラッシュの各設定は、カメラ側で設定したISO値とF(絞り)値に合わせてください。

❍ 内部フラッシュ(P.34)を使わずに外部フラッシュのみを発光させると、内部フラッシュの届かない遠くの被写体も照らすことができます。

❍ 内部フラッシュと外部フラッシュを両方使うと、外部フラッシュをバウンスさせ、内部フラッシュでキャッチライト効果を得る等、高度なフラッシュ撮影が可能になります。

◆外部フラッシュの状態により、誤発光することがあります。
◆外部フラッシュ使用時の発光量は、外部フラッシュ側で決定されます。撮影後液晶モニタで確認して露出がおかしい場合は、外部フラッシュ側で調節して撮影しなおしてください。
◆カメラで設定した露出補正は、外部フラッシュには適用されません。
◆クリップオンタイプのフラッシュは接続できません。三脚穴に固定する、グリップ付きフラッシュをご使用ください。この時、強く押しこまないでください。
◆スローシンクロも設定出来ます。(P.39参照)

スローシンクロ

スローシャッターで周囲の状況を捉え、最初又は最後にフラッシュを発光させる撮影方法です。夜間撮影に便利です。

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して行き、「SLOW OFF 1 2」を選択します。

2 十字ボタンの右(左)矢印を押して行き、「**1**(先幕)」か「**2** (後幕)」かを選択します。

❍「**1**(先幕)」を選択すると、撮影の最初にフラッシュが発光します。走行中の自動車を撮影した場合、テールランプの光が走行方向に流れて撮影されます。

❍「**2** (後幕)」を選択すると、撮影の最後にフラッシュが発光します。走行中の自動車を撮影した場合、テールランプの光が尾を引いて撮影されます。

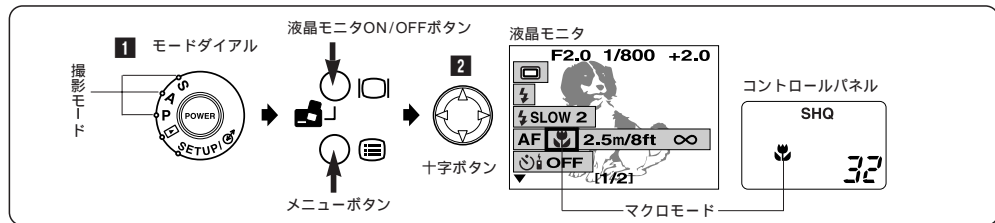
❍ 液晶モニタをOFFにすると、設定は解除されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

❍「**2** (後幕)」では、内部フラッシュはプリ発光と本発光の2回発光します。

◆内部フラッシュ、外部フラッシュの両方に適用されます。

マクロモード

近くにあるものを撮影するときはマクロモードを使います。名刺サイズをフレームいっぱいに撮ることができます。

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して行き、「**AF 2.5m/8ft ∞**」を選択します。

2 十字ボタンの右矢印を1度押して、「**マクロモード**」を選択します。

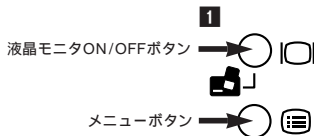
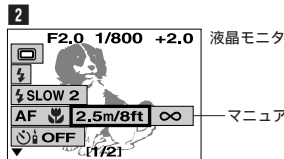
❍ 「**AF**」を選択すると、マクロモードは解除されます。

撮影距離　約0.2m〜0.8m

❍ コントロールパネルにマクロマークが表示されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

◆**内部フラッシュ使用時にはフラッシュ光がけられ、影が目立つ場合があります。**
◆**マクロモード時は、液晶モニタをファインダーとして使用することをおすすめします。**

マニュアルフォーカス

被写体との距離に応じて2.5m、∞ (無限遠)の撮影距離が選択できます。ピントの合いにくい被写体の時などに便利です。

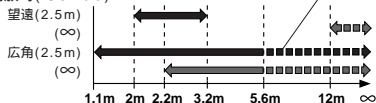
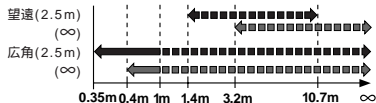
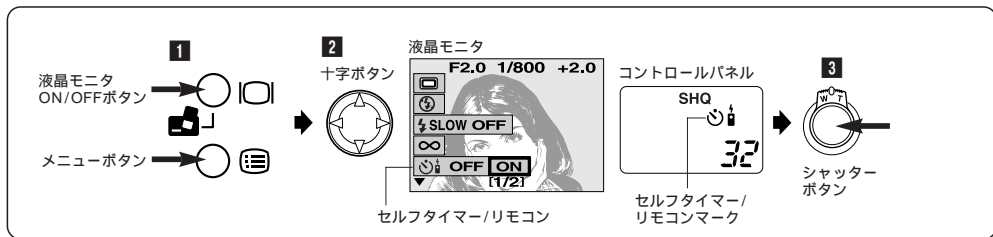
1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して行き、「 AF 2.5m/8ft ∞ 」を選択します。

2 十字ボタンの右矢印を押して行き、「**2.5m**」または「 ∞ (無限遠)」を選択します。

❍ 「**AF**」を選択すると、マニュアルフォーカスは解除されます。

❍ 液晶モニタをOFFにすると、設定は解除されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

❍ フラッシュ使用時は、フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。

セルフタイマー／リモコン

セルフタイマーやリモコンを使って撮影が出来ます。記念写真などを撮影する時に便利です。カメラを三脚などにしっかりと固定させてください。

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して行き、「 OFF ON 」を選択します。

❍ 液晶モニタがOFFの時はコントロールパネルをご覧ください。

2 十字ボタンの右矢印を押して「**ON**」を選択します。

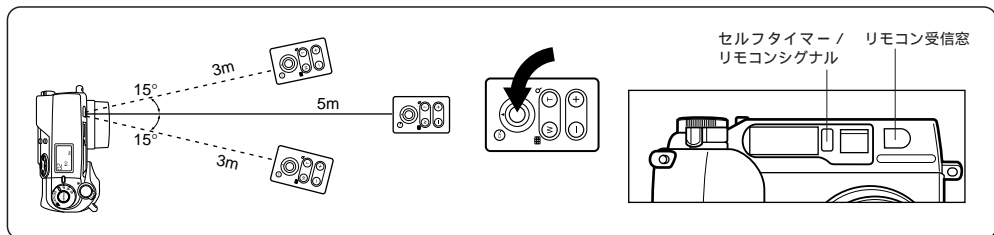
❍ コントロールパネルにセルフタイマー/リモコンマークが表示されます。

3 セルフタイマーを使う場合は、シャッターボタンを押します。

❍ カメラ前面のセルフタイマーシグナルが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後にシャッターが切れます。

❍ 作動中のセルフタイマーを途中で止めるには、モードダイアルを「 ▶ 」にしてください。

❍ 31ページの注意をお読みください。

リモコンを使った撮影のしかた

1 リモコンをカメラのリモコン受信窓に向け、リモコンの**W**又は**T**ボタンを押し、構図を決めます。

❍ カメラのセルフタイマー／リモコンシグナルが点滅します。

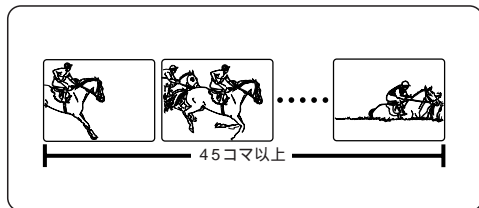
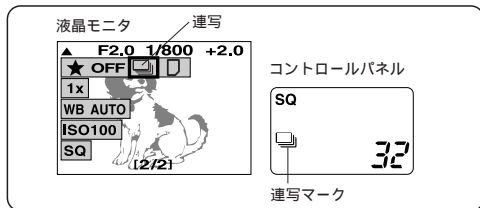
☞

◆撮影時リモコンに設定後、約3分間操作しないとリモコン設定が解除されます。
◆太陽下など明るい環境では、リモコン電波の到達距離が短くなります。
◆リモコン受信窓に強い光をあてないでください。

2 リモコンのシャッターボタンを押すと、カメラのセルフタイマー／リモコンシグナルが点滅し、約3秒後にシャッターが切れます。

❍ シャッターボタンを押してもセルフタイマー／リモコンシグナルが点滅しない場合は、カメラに近づいて再度シャッターボタンを押します。（電波が混信している時はシグナルが点滅しないので、リモコンの取扱説明書に従ってチャンネルを変えてください。）

❍ リモコンを使った再生のしかたは、P.54をご覧ください。

連写モード

SQモードで液晶モニタOFFの時に、毎秒約2コマ(HQモードでは約1コマ)で、45コマ以上(HQモードでは5コマ以上。画像ファイルの大きさにより変化します)の連続撮影ができます。

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「★ OFF」を選択します。

❍ 液晶モニタがOFFの時はコントロールパネルをご覧ください。

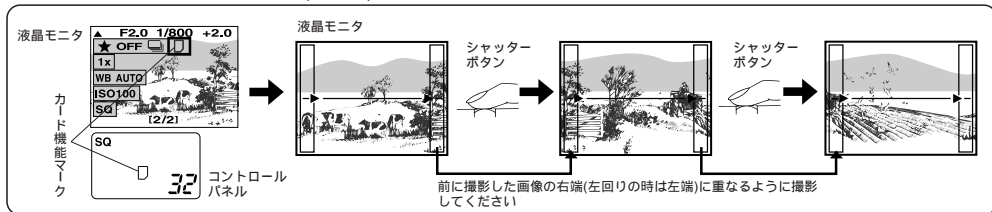
2 十字ボタンの右矢印を１度押して、「**連写**」を選択します。

❍ コントロールパネルに連写マークが表示されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

- ◆ **連写モードでは、内部フラッシュはご使用になれません。**
- ◆ **連写スピード、最大撮影枚数は画質モード等の条件により変化します。(標準画質モード(SQ)及び高画質モード(HQ)でご使用いただけます。)**
- ◆ **連写モードでのシャッタースピードはカメラぶれを抑えるため最長1／30秒に設定されております。このため、暗い被写体では通常より暗く写る場合があります。**
- ◆ **撮影後、画像の記録にSQモードで約75秒、HQモードで約38秒かかります。**

パノラマモード

オリンパスの標準スマートメディア(カード)にはパノラマモードが付いており、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。

被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像をパソコン接続キットC-6KP(別売)のCAMEDIA Masterでつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成します。

❍ コントロールパネルにカード機能マークが表示されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

液晶モニタONの時

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下(上)矢印を押して行き、「★ OFF ▭ ▯」を選択します。

2 十字ボタンの右矢印を押して行き、「**カード機能** ▯」を選択し、OKボタンを押します。

液晶モニタOFFの時

1 撮影モードでメニューボタンを押し、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、コントロールパネルにカード機能マーク ▯ が表示されたら十字ボタンの右矢印を押して行き、「**カード機能** ▯ 」を選択します。OKボタンを押すと液晶モニタが自動的にONになります。

撮影のしかた（P.26参照）

1 十字ボタンでつなげる方向を上下左右4方向に指定できます。

❍ モニタ画面に表示が出ます。

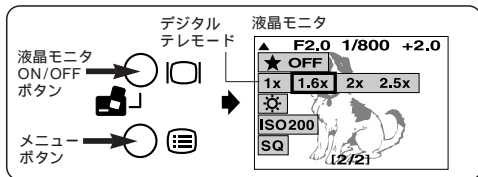
2 被写体の端が重なるようにして撮影します。

❍ 1枚目を撮影した後はズーム操作をしないでください。つなぎ合わせができなくなります。

❍ 最大10枚までのパノラマ撮影が可能です。

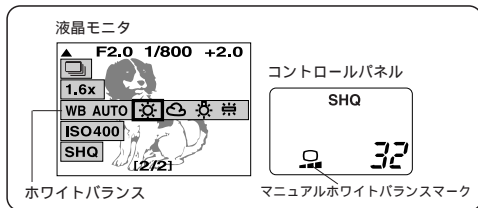
☞

- ◆標準カード以外のカードでは、パノラマモードは使えません。
- ◆パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合はパソコン接続キットC-6KP(別売)のCAMEDIA Masterをご使用ください。
- ◆ピント・露出・ホワイトバランスとも1枚目で決定されます。1枚目に太陽を入れた撮影などをしないでください。
- ◆高画質モードで多量のパノラマ撮影を行うとパソコンのメモリ不足になることがありますので、標準画質モードでの撮影をおすすめします。
- ◆パノラマモードでは、内部フラッシュはご使用になれません。
- ◆TIFF(非圧縮)でパノラマ撮影をすると、SHQモード(JPEG)で記録されます。

デジタルテレモード

2.5倍の望遠で撮影ができます。光学3倍ズームと組み合わせると、7.5倍ズーム相当の撮影が可能です。

1. 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「1x 1.6x 2x 2.5x」を選択します。
2. 十字ボタンの右（左）矢印を押して行き、「1倍(**1x**)」、「1.6倍(**1.6x**)」、「2倍(**2x**)」、「2.5倍(**2.5x**)」の中から選択します。

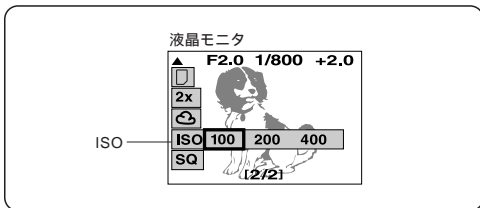
- ❍ 液晶モニタをOFFにすると、設定は解除されます。
- ❍ 31ページの注意をお読みください。
- ❍ 標準画質モードでのみご使用いただけます。(自動的に標準画質モードに設定されます。)
- ❍ SQモード(XGA)では、「2倍」「2.5倍」のときの記録時間が長くなり、画質が粗くなることがあります。(P.60参照)

ホワイトバランス

光源によりホワイトバランスを設定できます。

1. 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「WB AUTO」を選択します。
2. 十字ボタンの右矢印を押して行き、「オート **AUTO**」、「昼光」、「曇天」、「白熱球」、「蛍光灯」の中から選択します。

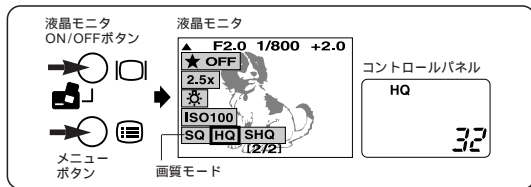
❍ オート以外の設定をすると、コントロールパネルにマニュアルホワイトバランスマークが表示されます。
❍ 31ページの注意をお読みください。

◆ 通常はオートに設定してお使いください。
◆ 特殊な光源下では対応できない場合があります。

ISO

感度を約100、約200(2倍感度アップ)、約400(4倍感度アップ)から選択できます。

1. 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下(上)矢印を押して行き、「ISO 100 200 400」を選択します。
2. 十字ボタンの右矢印を押して行き、「**100**」、「**200**」、「**400**」の中から選択します。

❍ 感度が高くなるほど、速いシャッタースピード及び低照度下での撮影が可能になります。
❍ 撮影モードが「**P**」の時、暗い所でフラッシュ不使用の場合は、手ぶれ防止のため自動的に感度が上がります。
❍ 液晶モニタをOFFにすると、設定は解除されます。
❍ 31ページの注意をお読みください。
❍ 感度を上げると画像にノイズが増えます。

画質モードの選択

標準画質モードSQ、高画質モードHQ/SHQに設定できます。

1 撮影モードで液晶モニタをONにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「SQ HQ SHQ」を選択します。

❍ 液晶モニタがOFFの時はコントロールパネルをご覧ください。

2 十字ボタンの右矢印を押して行き、「**SQ**」、「**HQ**」、「**SHQ**」の中から選択します。

❍ コントロールパネルに画質モードが表示されます。

❍ 31ページの注意をお読みください。

❍ SQモードは、VGA(640x480ピクセル)とXGA(1024x768ピクセル)から選択できます。(P.60参照)

❍ SHQモードは、JPEG(圧縮)とTIFF(非圧縮)から選択できます。(P.60参照)

高画質モード　HQ/SHQ (JPEG/TIFF)

記録画素数　1600 X 1200ピクセル

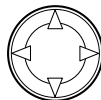
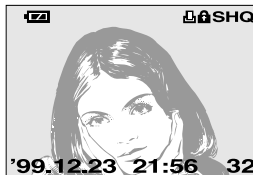
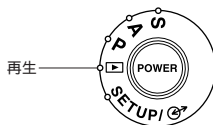
標準画質モード　SQ

記録画素数　640 X 480ピクセル (VGA)
1024 X 768ピクセル (XGA)

◆ **画質の設定によって撮影可能枚数が変わります。(P.22参照)**

◆ **HQとSHQの記録画素数は共に同じですが、SHQの方が圧縮率が低いため、引き伸ばしたときの画像がきれいです。また、SHQの方が記録・再生時間がやや長くなります。**

液晶モニタで再生してみましょう

再生モードを選択します

1 モードダイアルを「 ▶ 」にセットして電源を入れると、再生モードとなり、液晶モニタが自動的にONになります。

❍ 電源を入れると、カメラが自動的にカードチェックを行います。カードが入っていない時は、コントロールパネルにカード警告マークが点滅します。フォーマットが異なるカードが入っている時は、自動的に初期化モードに入ります。（P.62参照）

❍ 一枚も撮影されていない場合は、液晶モニタに「**NO PICTURE**」の表示が出ます。

❍ 撮影された最新の画像が表示されます。

❍ 液晶モニタには画像の他に、コマ番号、電池残量マークが表示されます。また設定を行っている場合は、プロテクト、画質モード、日時も同様に表示されます。

❍ 画質モード、電池残量、日時、コマ番号は3秒たつと消灯します。電池残量が残り少ない場合、液晶モニタに電池残量警告のマークが点滅します。

◆電源を入れた後に液晶モニタが一瞬光り、0.5〜2秒程してから画像が表示されるのは故障ではありません。

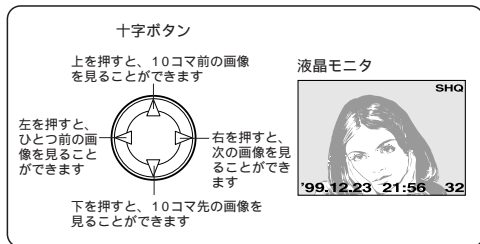
コマ再生

十字ボタン

上を押すと、10コマ前の画像を見ることができます

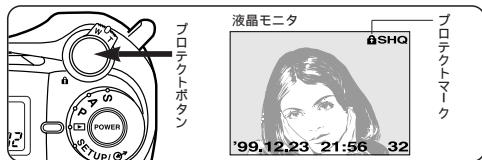
左を押すと、ひとつ前の画像を見ることができます

右を押すと、次の画像を見ることができます

下を押すと、10コマ先の画像を見ることができます

液晶モニタ

再生するコマ送りをします。コマ送りには、1コマ送りと10コマ送りがあり、撮影画像が多数ある時に便利です。

1 モードダイアルを「 ▶ 」にセットして、液晶モニタに画像を表示させます。
2 十字ボタンで画像を選択します。

🔒 プロテクト

残しておきたい画像にプロテクト(消去禁止)をかけます。

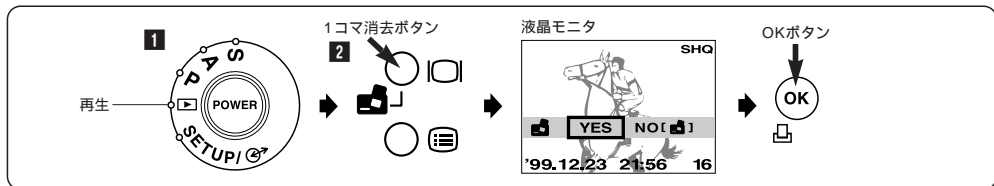
1 モードダイアルを「 ▶ 」にセットして、液晶モニタに残しておきたい画像を表示させます。
2 プロテクト(シャッター)ボタンを押すと、その画像にプロテクトがかかります。
❍ 液晶モニタにプロテクトマークが表示されます。
❍ プロテクトを解除するには、プロテクトボタンを再度押します。
❍ インデックスディスプレイモード（P.52)、クローズアップ再生モード（P.53）でも、プロテクトの設定、解除ができます。

☞

- ◆ **プロテクトされた画像は全コマ消去しても消されることはありませんが、初期化すると消滅します。**
- ◆ **ライトプロテクトシールの貼ってあるカードには、プロテクト操作は一切できません。**

画像の1コマ消去

消したい画像を消去します。

消したい画像にプロテクトがかかっている場合及びカードにライトプロテクトシールが貼ってある場合は、消去モードには入りません。消去するにはプロテクトを解除するかライトプロテクトシールをはがしてから操作を行ってください。（ライトプロテクトシールは再使用しないでください。）

1 モードダイアルを「 ▶ 」にセットして、液晶モニタに消したい画像を表示させます。

2 1コマ消去ボタンを押すと、確認画面が表示されます。「**YES**」が選択された状態でOKボタンを押すと、表示中の画像が消去されます。

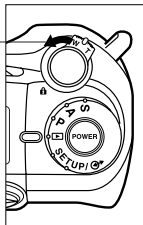
❍ キャンセルする場合は1コマ消去ボタンを再度押すか、確認画面で十字ボタンの右矢印を押し、「**NO**」を選択してOKボタンを押します。

❍ インデックスディスプレイモード（P.52）、クローズアップ再生モード（P.53）でも、1コマ消去ができます。

❍ 画像の全コマ消去はP.57をご覧ください。

⚠ 注意

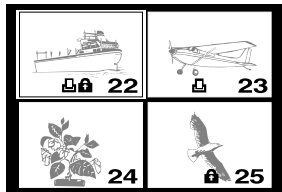
◆消去中にカードカバーを開けたり、ACアダプタ／電池やカードを抜くと、カード内のデータが破壊される恐れがありますので十分ご注意ください。

⊞ インデックスディスプレイモード

3 4 上を押すと、画面左上の画像のひとつ前の画像を含む複数の画像が表示

十字ボタン

左を押すと逆送りに移動

右を押すと画像選択の枠が順送りに移動

下を押すと、画面右下の画像の次の画像を含む複数の画像が表示

同時に複数の画像を表示します。

1 モードダイアルを「 ▶ 」にセットして、液晶モニタに画像を表示させます。

2 ズームレバーを**W**側に回すとインデックスディスプレイモードになり、表示中の画像を含む複数の画像が表示されます。

3 十字ボタンの右矢印を押すと画像選択の枠が順送りに移動し、左矢印を押すと逆送りに移動します。

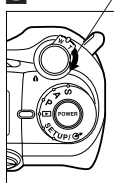
4 十字ボタンの上矢印を押すと、画面左上の画像のひとつ前の画像を含む複数の画像が表示されます。十字ボタンの下矢印を押すと、画面右下の画像の次の画像を含む複数の画像が表示されます。

5 ズームレバーを**T**側に回すと、選択されている画像が1コマ再生されます。

❍ 再生に2秒程時間がかかります。

☞

◆ 表示コマ数は4、9、16コマの中から選べます。(P.63参照)

クローズアップ再生

画像を拡大して表示します。

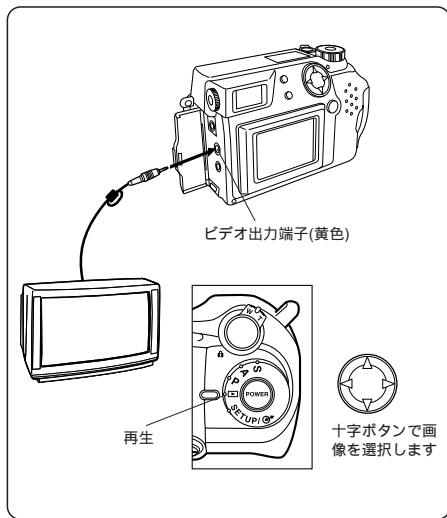
1 モードダイアルを「 ▶ 」にセットして、液晶モニタに拡大したい画像を表示させます。

2 ズームレバーを**T**側に回すと、モニタに表示されている画像が1.5倍に拡大表示されます。さらにズームレバーをT側に回すたびに、2倍、2.5倍、3倍に切り替わります。

❍ ズームレバーを**W**側に回すと、1倍に戻ります。

3 十字ボタンを使って、選択範囲を移動させることが出来ます。

4 選択画像を変えるには、ズームレバーを**W**側に回し、1倍表示に戻ってコマ送りをしてください。

テレビとの接続のしかた

同梱のビデオケーブルでテレビに接続すると、パソコンがなくても大きな画面で画像を確認できます。

接続の前に、テレビとカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

1 ビデオケーブルをカメラのビデオ出力端子とテレビの入力端子に差し込んでつなげます。

2 テレビの電源を入れます。

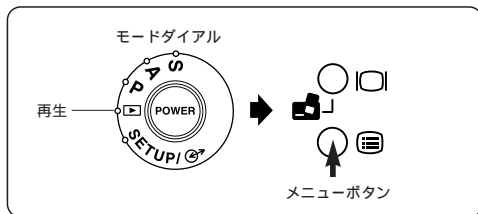
3 モードダイアルを「 ▶ 」にセットしてからカメラの電源を入れます。

4 十字ボタンで画像を選択します。

リモコンを使う場合

リモコンをカメラの受信窓に向けます。+/−ボタンで画像を選択し、Wボタンでインデックス表示にできます。Tボタンを押すと拡大表示になり、そこで+/−ボタンを押すと選択範囲を移動させることができます。

- ◆ **テレビに接続すると液晶モニタは消灯します。**
- ◆ **テレビの調整により、画像が画面中央からずれることがありますが、故障ではありません。**
- ◆ **ご使用のテレビによっては画像の外側に黒枠が表示されることがあります。このような状態でテレビからビデオプリンタに出力すると黒枠が目立つことがあります。**
- ◆ **ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。**

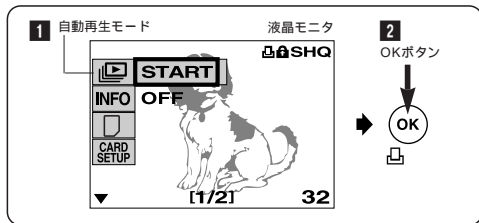
メニューモードの切り替え

再生モード（モードダイアル「 ▶ 」設定時）でメニューボタンを押してから十字ボタンの下（上）矢印を押すと、次の設定ができます。

☞

- **メニューボタンを再度押すと、設定されずにメニューモードから抜けます。**
- **各項目操作後にOKボタンを押すと、設定されてメニューモードから抜けます。**
- **インデックスディスプレイモード（P.52）、クローズアップ再生モード（P.53）でも、設定ができます。**

モード	機能・目的
自動再生	画像を自動送りで見られます。(P.56)
画像情報表示	画像の情報(設定、日時等)を表示させたい時に。(P.56)
カード機能	機能付スマートメディア使用時に。
カードセットアップ	画像の全コマ消去及びカードの初期化時に。(P.57)
全コマプリント予約*	全コマ印刷の設定。(P.66)
日付プリント予約*	日付又は時刻の印刷設定。(P.67)
インデックスプリント予約*	インデックスプリントの設定。(P.68)

* カメラファイルシステム規格に基づき、カードプリント予約情報をカードに書き込みます。カメラファイルシステム規格に対応したプリンタやラボで印刷することが出来ます。(P.2参照)

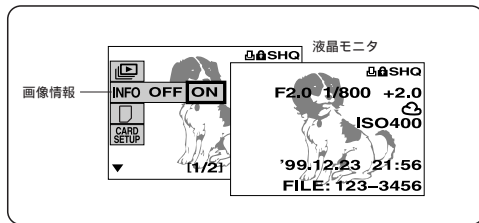
自動再生モード

撮った画像を自動的に順送りして見ることができます。

1 再生モードでメニューボタンを押すと、「**自動再生モード**」が選択されます。

2 OKボタンを押すと自動再生が始まり、メニューボタンを押すと止まります。

❍ 自動再生は一巡しても止まりません。メニューボタンを押して終了させてください。(ACアダプタを接続していない場合は、30分程で自動的に電源が切れます。)

❍ インデックスディスプレイモード(P.52)でも自動再生が可能です。

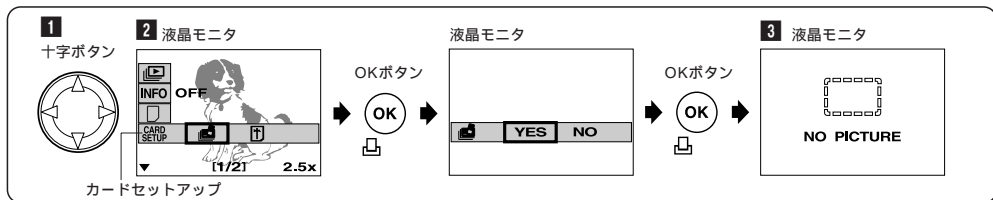
画像情報表示

撮影したときの画像情報（カメラの設定、日時等）を液晶モニタに表示することが出来ます。

1 再生モードでメニューボタンを押してから十字ボタンの下矢印を押して、「 INFO OFF ON 」を選択します。

2 十字ボタンの右（左）矢印を押して「**ON**」（表示）か「**OFF**」(非表示)かを選択し、OKボタンを押すと設定されます。

◆ **画像情報を表示している時は、コマ番号は表示されません。**

◆ **画像情報表示に設定しても、インデックスディスプレイモードではコマ番号表示になります。**

カードセットアップ (全コマ消去)

カードを全コマ消去又は初期化します。

1 再生モードでメニューボタンを押してから十字ボタンの下矢印を押して行き、「CARD SETUP」を選択します。

2 十字ボタンの右(左)矢印を押して「**全コマ消去**」か「**初期化**」かを選択してOKボタンを押すと、確認画面が表示されます。「**YES**」が選択された状態でOKボタンを押すと、全コマ消去或いは初期化が行われます。

❍ キャンセルする場合はメニューボタンを押すか、確認画面で十字ボタンの右矢印を押し、「**NO**」を選択してOKボタンを押します。

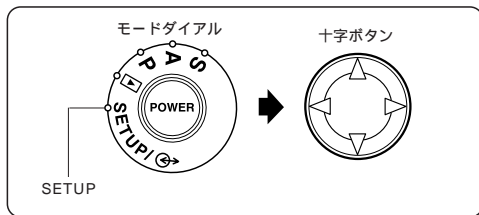
3 カード内の画像が全部消去されると、液晶モニタに「**NO PICTURE**」の表示が出ます。

❍ プロテクトのかかっているコマは、全コマ消去では残り、初期化では消滅します。

⚠ 注意

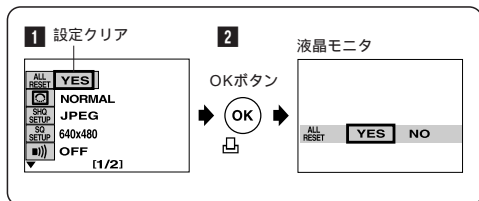
- ◆ **誤って大切なデータを消してしまうことのないよう、十分ご注意ください。**
- ◆ **消去中あるいは初期化中にカードカバーを開けたり、ACアダプタ／電池やカードを抜くと、カード内のデータが破壊される恐れがありますので十分ご注意ください。**
- ◆ **62ページの初期化に関する注意をお読みください。**

設定をしましょう

メニューモードの切り替え

電源を入れ、プリンタやPCに接続しない状態でモードダイアルを「**SETUP**」にすると、次の設定ができます。液晶モニタが自動的にONになりますので、十字ボタンの下（上）矢印を押して、項目を選択してください。

- **◆設定後通常の撮影モード/再生モードに戻るには、モードダイアルを切り替えてください。**
- **◆電源を切った後も設定は保存されます。**

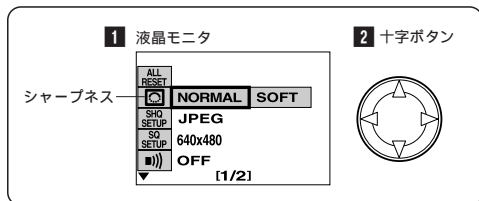
モード	機能・目的
設定クリア	設定を初期設定にもどします。(P.59)
シャープネス	画像の鮮鋭度を選択します。(P.59)
SHQ 設定	非圧縮(TIFF)に設定。(P.60)
SQ 設定	画質モードSQの画像サイズを設定。(P.60)
ビープ音	音を出す、出さないを設定。(P.61)
REC VIEW	撮影後、記録画像を表示しません。(P.61)
カード初期化	カードを初期化する時に。(P.62)
インデックス設定	インデックスディスプレイモードでの表示コマ数設定。(P.63)
液晶モニタ調節	液晶モニタの明るさを調節。(P.63)
日時設定	日時を設定。(P.64)

設定クリア

本メニュー内項目以外の設定をクリアして、初期設定に戻します。

1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにすると、「ALL RESET YES」が選択されます。

2 OKボタンを押すと、確認画面が表示されます。「**YES**」が選択された状態でOKボタンを押すと設定が解除され、初期設定に戻ります。

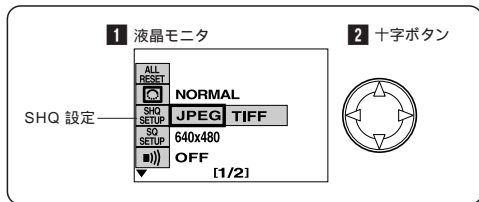
❍ キャンセルする場合は十字ボタンの右矢印を押して「**NO**」を選択し、OKボタンを押します。

シャープネス

画像の鮮鋭度(切れ味)を選択します。

1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下矢印を押して「 NORMAL SOFT 」を選択します。

2 十字ボタンの右（左）矢印を押して、「**NORMAL**」か「**SOFT**」かを選択すると設定されます。

❍「**NORMAL**」は画像の切れ味がシャープで、鑑賞用に適しています。「**SOFT**」は画像の切れ味がソフトで、加工処理するときなどに適しています。状況に応じて使い分けてください。

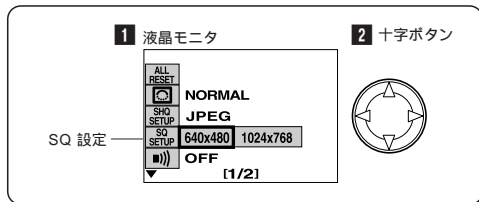
画質モードSHQの設定

非圧縮(TIFF)に設定できます。

1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下矢印を押して行き、「SHQ SETUP JPEG TIFF」を選択します。

2 十字ボタンの右（左）矢印を押して、「**JPEG**」（圧縮）か「**TIFF**」（非圧縮）かを選択すると設定されます。

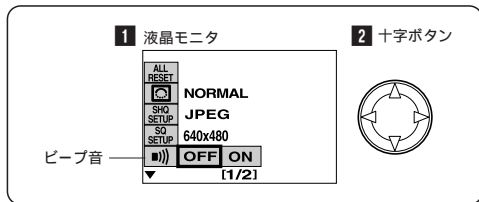
☞

◆ 画素数は共に1600x1200ピクセルですが、TIFFは画像を圧縮せずに記録するため、記録・再生時間が極端に長くなり、撮影可能枚数が少なくなりますのでご注意ください。

画質モードSQの設定

画質モードSQの画像ファイルサイズを設定します。

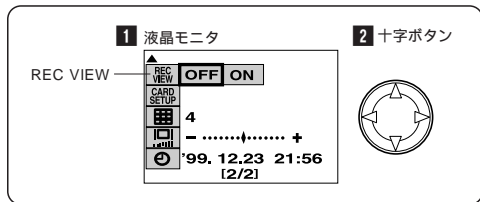
1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下矢印を押して行き、「SQ SETUP 640x480 1024x768」を選択します。

2 十字ボタンの右(左)矢印を押して、「**640x480**ピクセル」(VGA)か「**1024x768**ピクセル」(XGA)かを選択すると設定されます。

ビープ音

操作音（ビープ音）のON/OFFを設定します。

1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下矢印を押して行き、「 OFF ON 」を選択します。

2 十字ボタンの右（左）矢印を押して、「**ON**」か「**OFF**」かを選択すると設定されます。

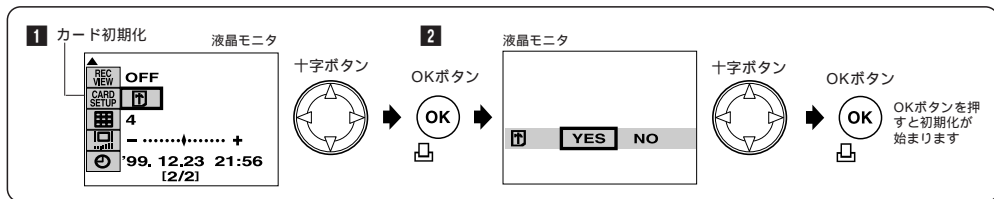
REC VIEW

撮影時のモニタ表示のON/OFFを設定します。

1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「 REC VIEW OFF ON 」を選択します。

2 十字ボタンの右（左）矢印を押して、「**ON**」か「**OFF**」かを選択すると設定されます。

❍「**ON**」にすると、撮影後、撮影画像がモニタに表示されます。

❍「**OFF**」では画像が表示されません。

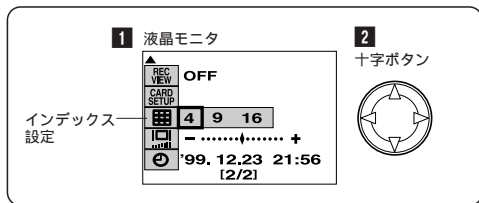
カードの初期化

初期化とは
カードを使用機器で書き込みできるフォーマットに変えることです。

❍ 初期化済みのオリンパス製カードのご使用をおすすめします。

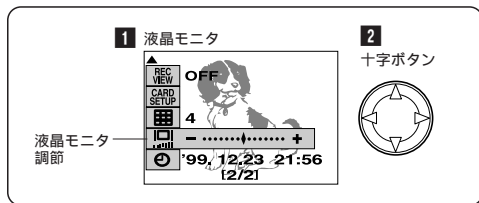
1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「CARD SETUP」を選択します。
2 OKボタンを押すと、確認画面が表示されます。「**YES**」が選択された状態でOKボタンを押すと、カードが初期化されます。

❍ キャンセルする場合は、確認画面で十字ボタンの右矢印を押して「**NO**」を選択し、OKボタンを押します。

- **初期化すると既存のデータ(カメラでプロテクトをかけた画像を含む)は消滅します。使用済みカードを初期化する時には、大切なデータを消さない様にご確認ください。**
- **オリンパス製以外のカード及びパソコンで初期化あるいは使用したカードは、書き込み時間が長くなることがあります。このようなときはカメラで再度初期化を行うことをおすすめします。**
- **カードにライトプロテクトシールが貼ってある場合は、初期化を受け付けません。**
- **再生モードでも初期化ができます。(P. 57)**

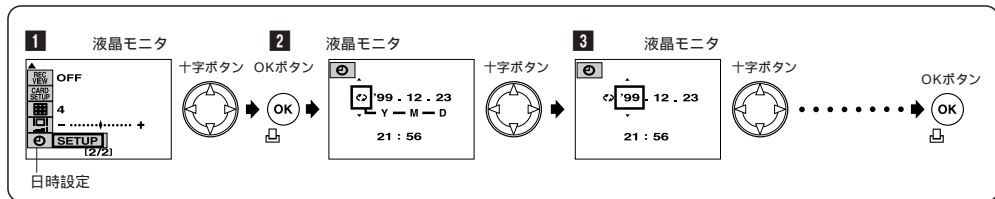
インデックスディスプレイの設定

インデックスディスプレイモードでの表示コマ数を設定します。

1. 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下(上)矢印を押して行き、「 田 4 9 16 」を選択します。
2. 十字ボタンの右(左)矢印を押して、「**4**分割」、「**9**分割」、「**16**分割」の中から選択すると設定されます。

液晶モニタ調節

液晶モニタの明るさを調節できます。

1. 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下(上)矢印を押して行き、「 − ·······♦······· + 」を選択します。
2. 十字ボタンの右(左)矢印を押して、明るさを選択すると設定されます。

❍ 輝度が明るいほど、電池の消耗が激しくなります。暗めの設定をおすすめします。

日時の設定

日付・時刻を設定します。

1 他機器非接続状態で「**SETUP**」モードにし、十字ボタンの下（上）矢印を押して行き、「 SETUP 」を選択します。

2 OKボタンを押すと、設定画面になります。十字ボタンの上(下)矢印を押して日付の順序を**DMY**(日•月•年)、**MDY**(月•日•年)、**YMD**(年•月•日)の中から選択し、十字ボタンの右矢印を押して年の設定に移動します。

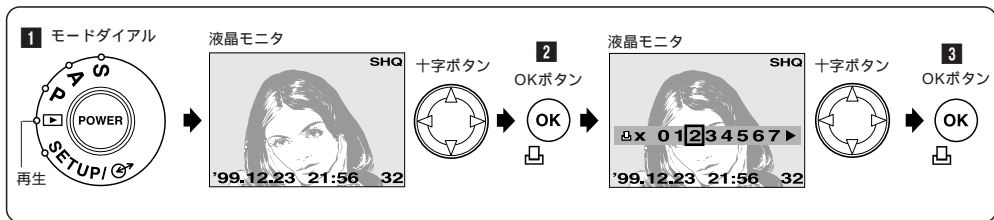
3 十字ボタンの上（下）矢印を押して年を設定し、十字ボタンの右矢印を押して月に移動します。同様に分まで繰り返し、OKボタンを押すと設定されます。

❍ 0秒の時報に合わせてOKボタンを押すと、正確に合わせることができます。

◆ 電池を抜いた状態で約1時間放置すると設定した日付は解除されます(当社試験条件による)。この場合は再度設定を行ってください。

◆ 大切な撮影の前には、日付・時刻が正しく設定されていることをご確認ください。

印刷してみましょう１(スマートメディアからの印刷)

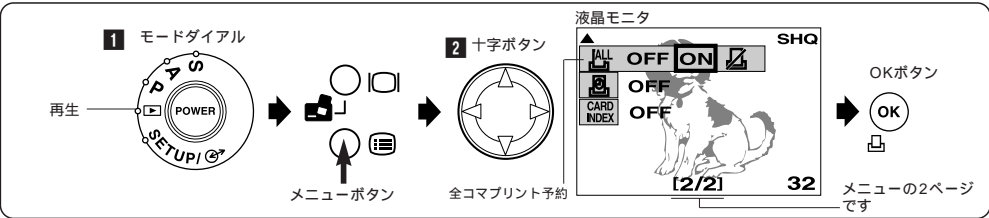
カードプリント予約

カード内に保存されている画像毎に希望印刷枚数の指示を書き込み、カメラファイルシステム規格に対応したプリンタ又はラボで希望の印刷をすることが出来ます。

1 再生モードで十字ボタンを押して、プリントしたい画像を表示させます。

2 OK(プリント予約)ボタンを押し、十字ボタンでプリント枚数を選択します。

3 OKボタンを押すと設定され、液晶モニタにプリント予約マーク( )が表示されます。

- ◆ **印刷実行後も選択データはカード内に保存されます。**
- ◆ **全コマプリント予約(P.66)で「オールキャンセル 」を選択すると、選択データはすべて消去されます。**
- ◆ **プリンタ又はラボにより、一部機能が制限されることがあります。**
- ◆ **専用プリンタP-330では、複数プリントの設定を行っても1枚プリントとして出力されます。複数プリントはプリンタ側で設定してください。**
- ◆ **P-330で印刷する場合、256枚を越える印刷はできません。**

全コマプリント予約

カード内に保存されている画像全てを設定枚数印刷する指示を書き込み、カメラファイルシステム規格に対応したプリンタ又はラボで印刷をすることが出来ます。

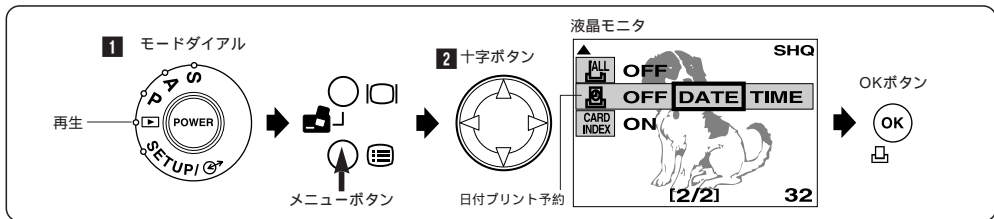
1 再生モードでメニューボタンを押してから十字ボタンの下矢印を押して行き、「 OFF ON 」を選択します。

2 十字ボタンの右矢印を押して「**ON**」(全コマプリント)を選択し、OKボタンを押すと設定され、メニューモードから抜けます。

❍「**オールキャンセル** 」を選択してOKボタンを押すと、カードプリント予約(P.65)の選択データもすべて消去されます。

❍ 本項目が表示されている状態でOKボタンを押してください。

- **設定枚数は、「カードプリント予約」(P. 65)で最後に設定した枚数になります。**
- **設定後に撮影した画像は予約されません。再度設定し直してください。**
- **「オールキャンセル」は、プリント予約全てをキャンセルします。**
- **設定は変更を加えるまでカードに保存されます。**
- **P-330で印刷する場合、256枚を越える印刷はできません。**
- **プリント予約には時間がかかることがあります。**

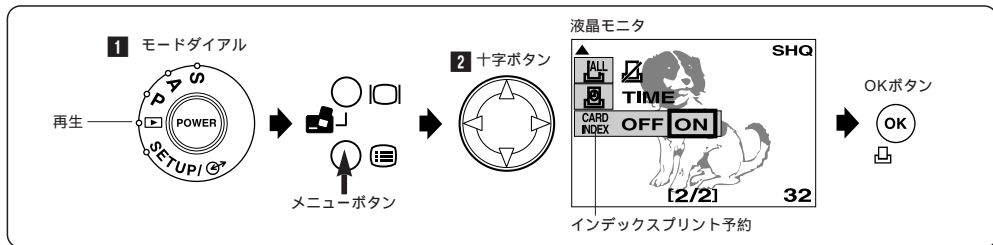
日付プリント予約

カード内に保存されている画像に撮影した日付を入れる指示を書き込み、カメラファイルシステム規格に対応したプリンタ又はラボで印刷をすることが出来ます。

1 再生モードでメニューボタンを押してから十字ボタンの下矢印を押して行き、「 OFF DATE TIME 」を選択します。

2 十字ボタンの右（左）矢印を押して「**OFF**」（日付なし)、「**DATE**」（年月日)、「**TIME**」（時分秒）の中から選択し、OKボタンを押すと設定され、メニューモードから抜けます。

❍ 本項目が表示されている状態でOKボタンを押してください。

- ◆ **設定後に撮影した画像は予約されません。再度設定し直してください。**
- ◆ **設定は変更を加えるまでカードに保存されます。**
- ◆ **この機能は専用プリンタP-330ではご使用になれません。プリンタ側の機能をお使いください。**
- ◆ **プリント予約には時間がかかることがあります。**

インデックスプリント予約

カード内に保存されている画像全てにインデックスプリントの指示を書き込み､カメラファイルシステム規格に対応したプリンタ又はラボで印刷をすることが出来ます。

1 再生モードでメニューボタンを押してから十字ボタンの下矢印を押して行き、「CARD INDEX OFF ON」を選択します。

2 十字ボタンの右矢印を押して「**ON**」を選択し、OKボタンを押すと設定され、メニューモードから抜けます。

❍ 本項目が表示されている状態でOKボタンを押してください。

- ◆ **プリントの形態は、使用するプリンタ又はラボにより異なります。**
- ◆ **設定後に撮影した画像は予約されません。再度設定し直してください。**
- ◆ **設定は変更を加えるまでカードに保存されます。**
- ◆ **この機能は専用プリンタP-330ではご使用になれません。プリンタ側の機能をお使いください。**
- ◆ **プリント予約には時間がかかることがあります。**

印刷してみましょう 2 (ダイレクトプリント)

カメラからの印刷 (専用プリンタ P-300／P-150)

専用プリンタP-300／P-150と接続して、ダイレクトプリントが可能です。

接続の前に、プリンタとカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

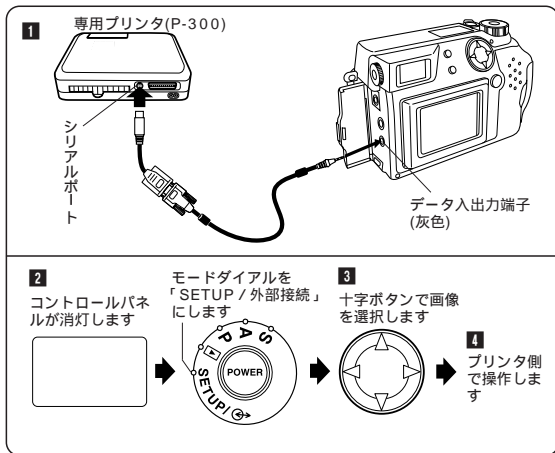
1 デジタルカメラと別売の専用プリンタ(P-300／P-150)を専用ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

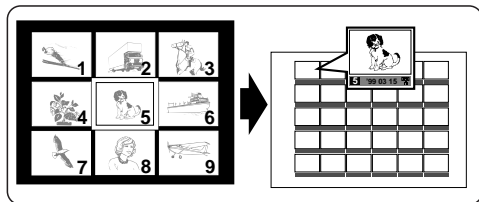
❍ 専用ケーブルはパソコン接続キットに同梱されているDOS/V用パソコン接続ケーブルとMAC用変換コネクターを接続してご使用ください。(P.79参照)

2 カメラのコントロールパネルが消灯してからパワーボタンを押して電源を入れ、モードダイアルを「**外部接続** ⦾」にすると、液晶モニタが自動的にONになります。

3 十字ボタンでプリントしたい画像を選択します。

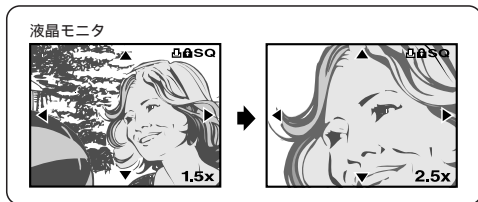
4 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

☞

- **印刷中は液晶モニタが消灯し、一切の操作を受け付けません。**
- **日付を入れることも可能です。(P.76参照)**
- **ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。**
- **TIFFモードで撮影した画像は印刷できません。**
- **専用ケーブルのみ御用命の方は、カスタマーサポートセンターもしくはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。(裏表紙参照)**

インデックスプリント(P-300/P-150)

専用プリンタP-300／P-150と接続してインデックスプリントが作れます。

1. プリンタを接続した状態でモードダイアルを「**外部接続** ⇔ 」にします。
2. インデックスディスプレイ画面を表示させます。（P.52参照）
3. プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

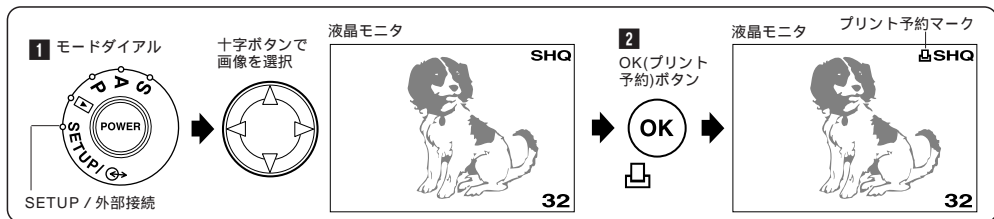
- ❍ 印刷後、画面上のワクは次のインデックスの先頭の画像に移動します。（再度ダイレクトプリントボタンを押すと、続きのインデックスが印刷できます。）
- ❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。
- ❍ 日付は常に印刷されます。

クローズアッププリント(P-300/P-150)

専用プリンタP-300／P-150と接続してクローズアッププリントが作れます。

1. プリンタを接続した状態でモードダイアルを「**外部接続** ⇔ 」にします。
2. クローズアップ再生します。（P.53参照）
3. プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

- ❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。

◆精細なクローズアッププリントを行うためには、高画質モード(SHQまたはHQ)での撮影をおすすめします。

ダイレクトプリント予約 (P-300)

専用プリンタP-300と接続して、予め選択した画像をダイレクトプリントします。

1 プリンタを接続した状態でモードダイアルを「**外部接続** ⊖→ 」にします。

2 プリントしたい画像を表示させた状態でOK(プリント予約)ボタンを押すと、その画像がプリント予約されます。コマを移動して予約していきます。

❍ 液晶モニタにプリント予約マークが表示されます。

❍ 予約を画像毎にキャンセルするには、その画像を表示させた状態で再びOKボタンを押します。

❍ 予約を全てキャンセルするには、全コマプリント(P.73)で「オールキャンセル 」を選択してください。

3 プリンタで印刷部数を設定し、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

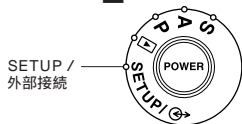
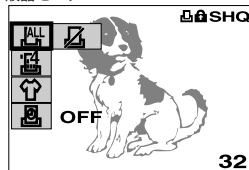
❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。

☞

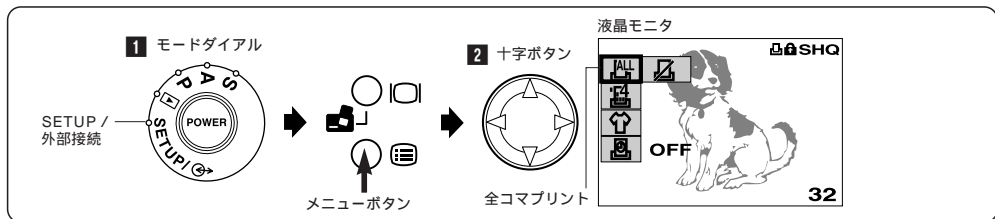
◆印刷実行後も選択データは保存されますが、モードダイアルを切り替えるか電源を切ると解除されます。

◆インデックス画面（P.70）、からでも予約できますが、プリント時には1コマ表示に戻してください。

◆ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。

メニューモードの切り替え (P-300／P-150)

1 プリンタに接続した状態で電源を入れます。
2 モードダイアルを「**外部接続** 」にしてからメニューボタンを押すと、次の設定が出来ます。
3 十字ボタンの上(下)矢印を押して、項目を選択してください。

設定項目	機能・目的
全コマプリント	全コマプリントしたい時に。(P.73)
分割プリント	4分割/16分割プリントが作れます。(P.74)
転写プリント	Tシャツプリントが作れます。(P.75)
日付プリント	日付をプリントしたい時に。(P.76)

- **◆メニューボタンを再度押すと、設定されずにメニューモードから抜けます。**
- **◆インデックス画面（P.70）、クローズアップ画面（P.70）からでも設定できます。**
- **◆プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。**

全コマプリント (P-300／P-150)

専用プリンタP-300/P-150と接続して、カード内の全コマをプリントします。

1 プリンタ接続状態で「**外部接続** 」モードにしてからメニューボタンを押して、「 」を選択します。

2 十字ボタンの右(左)矢印を押して、「**全コマプリント**」か[**オールキャンセル**]かを選択します。

❍ ここでOKボタンを押すと、設定されてメニューモードから抜けます。

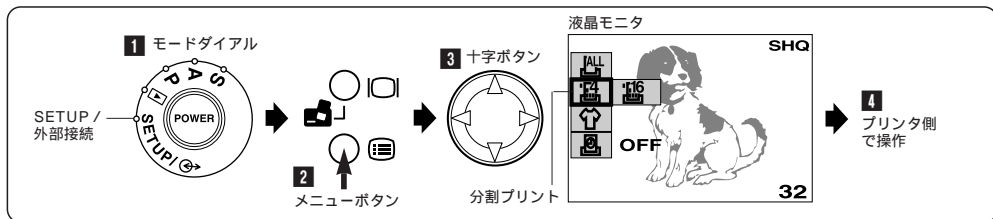
❍ OKボタンを押さずにメニューボタンを押すと、設定されずにメニューモードから抜けます。

3 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。

◆ **「オールキャンセル 」を選択すると、ダイレクトプリント(P.71)で行った予約がキャンセルされます。**

◆ **ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。**

分割プリント (P-300／P-150)

専用プリンタP-300／P-150と接続して4分割プリント／16分割プリントが作れます。

ペーパーは、プリンタにより下記のものをご使用ください。

4分割プリント

P-300.............P-60NS4 (4分割シールペーパー)
P-150.............P-50P (スタンダードペーパー*)

* お好みの大きさに切ってお使いください。

16分割プリント

P-300.............P-60NS16(16分割シールペーパー)
P-150.............P-50S16 (16分割シールペーパー)

◆ **1600x1200高画質から画素数を大きく減らして印刷するため、画質はもとの画像の品質とは異なります。**

1 プリンタ接続状態で「**外部接続** ⊖→ 」モードにし、十字ボタンを押してプリントしたい画像を選択します。

2 メニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して「 」を選択します。

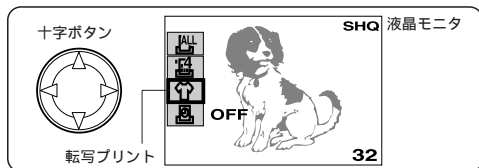
3 十字ボタンの右(左)矢印を押して、「**4分割プリント**」か「**16分割プリント**」かを選択します。

4 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。

◆ **メニュー表示中にプリンタのダイレクトボタンを押してください。メニューから抜けると設定できません。**

◆ **このモードでは、日付プリントが設定されていても日付はプリントされません。**

転写プリント(P-300／P-150)

専用プリンタP-300／P-150と接続して左右が逆の転写プリントがつくれます。Tシャツプリント等に活用できます。

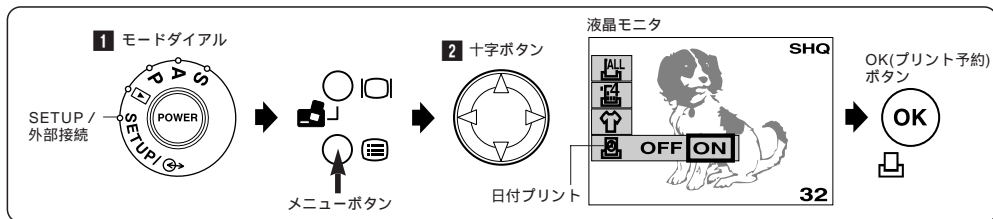
1 プリンタ接続状態で「**外部接続** ⊖→ 」モードにし、十字ボタンを押してプリントしたい画像を選択します。

2 メニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して「 」を選択します。

3 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。

❍ Tシャツプリント作成には別売の布転写シートをお使いください。

日付プリント (P-300／P-150)

専用プリンタP-300/P-150と接続して、日付をプリントします。

1 プリンタ接続状態で「**外部接続** 」モードにしてからメニューボタンを押し、十字ボタンの下矢印を押して「 OFF ON 」を選択します。

2 十字ボタンの右矢印を押して、「**ON**」（日付入り）を選択します。

❍ ここでOKボタンを押すと、設定されてメニューモードから抜けます。

3 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.69をご覧ください。
❍ 予約画像（P.71）がないときは現在表示の画像が、予約画像があるときは予約画像が印刷されます。
❍ インデックス表示、拡大表示ではそれぞれの表示画像が印刷されます。

◆ ONに設定しても、4分割プリント、16分割プリントでは日付は印刷されません。

画像をとりこみましょう

パソコンの使用環境

パソコン接続キットC-6KP使用の場合 (以下の条件で使用可能です。)

❍ DOS/V機(IBM PC/AT互換機)

CPU : Windows 98 : 486DX、 66MHz 以上
Windows 95/NT 4.0 :
486SX、33MHz 以上
(Pentium 以上 推奨)
システム : Windows 98/95/NT 4.0
ハードディスクの空き容量 : 20MB 以上
RAM : Windows 98/95 — 16MB 以上
Windows NT 4.0 — 24MB 以上
コネクター : 標準RS-232Cインターフェイス
D-SUB 9ピンコネクター
モニタ : 256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

❍ Apple Macintosh

CPU : 68040以降
システム : 漢字Talk7.5 以上、Mac OS7.6〜8.5
ハードディスクの空き容量 : 20MB 以上
RAM : 24MB 以上
コネクター : シリアルポート
ミニDin 8ピンコネクター
モニタ : 256色以上 640×480ドット以上
推奨32000色以上

※ iMacでは使用できません。

❍ NEC PC-9821及びPC-98-NXシリーズ

システム : Windows 98/95/NT 4.0
ハードディスクの空き容量 : 20MB 以上
RAM : Windows 98/95 — 16MB 以上
Windows NT 4.0 — 24MB 以上
コネクター : 標準RS-232Cインターフェイス
(19200 bps以上の通信速度が必要)
D-SUB 25ピンコネクター
モニタ : 256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

◆ 詳しくはCAMEDIA Masterのオンラインマニュアルをご参照ください。

CAMEDIA Masterの主な機能

別売のパソコン接続キットC-6KPに同梱されているCAMEDIA Masterをパソコンにインストールすると、撮影した画像をシリアルケーブルを介してパソコンにダウンロードし、表示・加工・保存・その他いろいろな機能を楽しめます。

上記ソフトウェアには主に下記の6つの機能があります。インストール方法や操作手順については、ソフトウェアのオンラインマニュアルをご参照ください。

■ カメラとの通信

RS-232Cを介し、カメラ内画像ファイルのダウンロードを行います。また、カメラの各種設定(プロテクト設定・解除、データ消去、日付時刻の設定、その他設定変更等)もサポートしています。

■ 画像ビューワー

カメラからダウンロードした画像、ディスク上の画像ファイルのインデックス表示、単画面表示を行います。また、エクスプローラ風のフォルダ階層表示とドラッグ&ドロップによる操作で画像の管理が簡単に行えます。更にスライドショー(自動再生)もできます。

■ 一括処理

インデックスウィンドウから画像の回転、フォーマット変換、リネーム等の一括処理が可能です。

■ 加工

回転（右90度、左90度、180度、任意角度)、色数変更、リサイズ、テキスト挿入、各種フィルター処理（明るさ、コントラスト、カラーバランス、シャープネス等)が可能です。

■ カメラ連携機能

「パノラマ合成」 標準カードのパノラマモードで撮影した画像を使用して、パノラマ合成画像が作成できます。

「テンプレート合成」 別売のテンプレートカードに、カメラで合成可能なオリジナルテンプレート画像をアップロードできます。

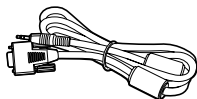
■ 印刷

単画像印刷の他、単画像日付入り印刷、インデックス印刷、レイアウト印刷(3、4、6ショットを自動レイアウト)を行います。

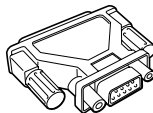
パソコンとの接続のしかた

ご使用のパソコン機種によって、接続方法が異なります。

❍ DOS/V機(IBM PC/AT互換機)

パソコン側の“ COM1、COM2 ”等と書かれたシリアルポートに、DOS/V用パソコン接続ケーブルをそのまま接続します。

DOS／V用
パソコン接続ケーブル

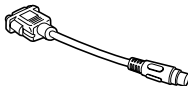
❍ NEC PC-9821

パソコン側の“ RS-232C ”と書かれたシリアルポートに98用変換コネクターを接続し、さらにDOS/V用パソコン接続ケーブルを接続します。(PC-98ノートパソコンには別のコネクターが必要です。)

98用変換コネクター

❍ Apple Macintosh

パソコン側のプリンタポートもしくはモデムポートにMAC用変換コネクターを接続し、さらにDOS/V用パソコン接続ケーブルを接続します。

MAC用変換コネクター

☞

◆上記ケーブルもしくは、コネクターはパソコン接続キットC-6KP(別売)に同梱されています。
◆電池の消費を防ぐため、ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。

カメラからパソコンに画像をとりこみます

別売のパソコン接続キットC-6KPに同梱されているCAMEDIA Masterを使用する場合

接続の前に、パソコンとカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

1 パソコン接続ケーブルをパソコンのシリアルポートに接続します。(P.79参照)

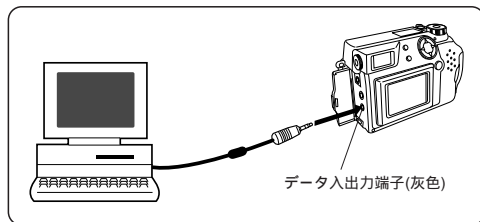
2 コネクターカバーを開けます。

3 パソコン接続ケーブルをカメラ側のデータ入出力端子(灰色)に合わせ、プラグを最後まで押し込みます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 カメラのパワーボタンを押して電源を入れ、モードダイアルを「**SETUP／外部接続** 」にします。

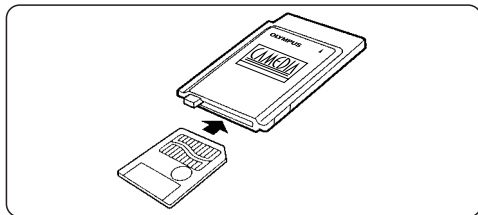
6 CAMEDIA Masterを起動します。

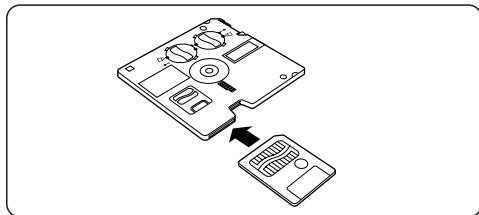
❍ 操作手順は、CAMEDIA Masterのオンラインマニュアルをご参照ください。

◆カメラの電源がONの状態でパソコンと接続すると、カメラが正しく作動しない場合があります。パソコンと接続する時は、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

◆パソコンに接続したときは、カメラのボタン類は一切動作しなくなります。

◆モードダイアルが「SETUP／外部接続 」のときのみ、パソコンとの通信が出来ます。

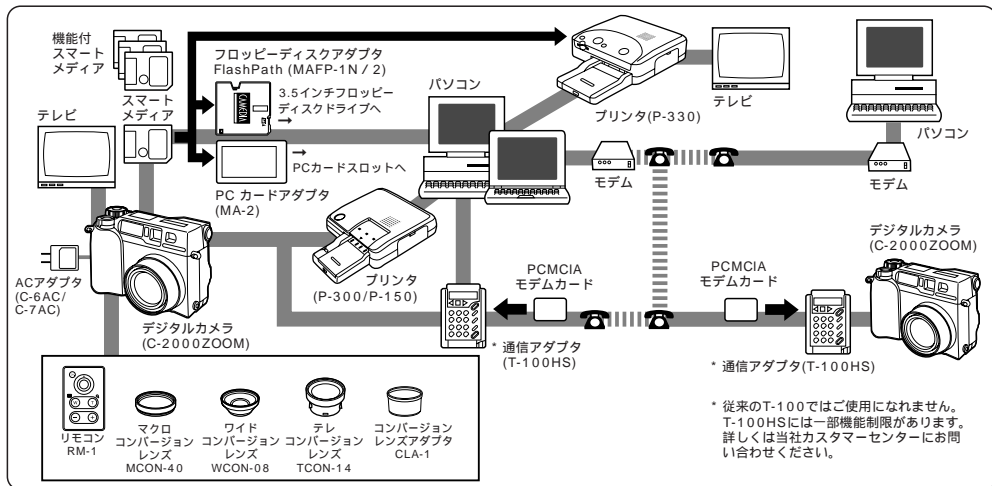
スマートメディアから直接とりこむ場合

PCカードアダプタ

別売のPCカードアダプタ(MA-2)をご使用になると、スマートメディアからPCカードスロットまたは外付PCカードドライブを備えたパソコンに直接画像データをとりこむことが可能です。

フロッピーディスクアダプタFlashPath

別売のフロッピーディスクアダプタFlashPath(MAFP-1N／MAFP-2)をご使用になると、スマートメディアから3.5インチフロッピーディスクドライブを備えたパソコンに直接画像データをとりこむことが可能です。

◆パソコンの動作環境やスマートメディアの記憶容量等により、ご使用になれない場合があります。
◆ライトプロテクト(書き込み禁止)シールの貼ってあるカードをパソコンで使用するとエラーが多発しますので、ご使用にならないでください。(詳しくは両アダプタの取扱説明書をお読みください。)

システムチャート

別売の機器とシステムを組むと、様々な用途に使用できます。

その他

Q & A

Q 電池はどの位もちますか。

A 約100コマの撮影が可能です(フラッシュ50%使用時)。但しこれは一応の目安で、液晶モニタの使用時間、フラッシュの使用頻度、電池の種類、使用環境温度等によって大きく変わります。特に液晶モニタを点灯させたままにすると、電池の消耗が激しいのでこまめに電源を切るようにしてください。別売の専用ACアダプタを使用しますと電池寿命を心配しなくてすみます。なお、本書に記載されている電池による撮影枚数は、当社試験条件、当社指定の電池による参考値です。別売の充電器セット(B-30S、B-31S)をおすすめします

Q 画像データに記録される日付が正しくないのですが。

A 出荷時には日付設定されておりませんので、撮影前に日付設定をしてください。(P.64) (別売のパソコン接続キットC-6KPに同梱されているCAMEDIA Masterを用いることで、パソコンからの設定もできます。)

Q フィルターやフードは取り付けられますか。

A 取り付けられません。

Q 外付けフラッシュは使用できますか。

A ご使用になれます。詳しくは弊社ホームページ(http://www.olympus.co.jp)をご覧になるか、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

Q フラッシュを使用し、人物撮影をしたら目が赤く写ってしまったのですが。

A どのカメラでもフラッシュを用いた人物撮影では目が赤く写ることがあります。これは網膜がフラッシュの光を反射するために起こる現象ですが、個人差が大きく、また周囲の明暗等の撮影条件によっても異なります。一般的には東洋人は出にくく、西洋人は出やすい傾向にあります。赤目軽減発光モードを使用することにより、発生頻度を大幅に軽減します。

Q カメラの保管はどうすれば良いのですか。

A カメラはホコリ、湿気、塩分を嫌います。よくふいて乾燥させて、保管してください。海辺で使ったあとは、真水で浸した布を硬く絞ってふき取ると良いでしょう。防虫剤の使用は避けてください。長期保管の場合は電池を抜いてください。

修理に出す前にお確かめください

操作上のトラブル

こんなときには…	原因	こうしましょう	参　照 ページ
カメラが動かない。	① 電源がOFFになっている。	❶ パワーボタンを押して、電源をONにしてください。	P.19
	② 電池の向きが正しくない。	❷ 電池を正しく入れ直してください。	P.16
	③ 電池がない。	❸ 新しい電池を入れてください。	P.16
	④ 寒さで電池の性能が一時的に低下した。	❹ 電池をポケット等で温めてから使用してください。	
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	① フラッシュの充電が完了していない。または、カードに書き込み中である。	❶ 一度シャッターボタンから指を離し、オレンジランプまたは緑ランプの点滅が終わってから撮影してください。	P.34 P.25
	② カードに問題がある。	❷ エラー表をご覧ください。	P.21
フラッシュが発光しない。	① フラッシュモードがOFFになっている。	❶ フラッシュモードを切り替えてください。	P.37
	② 明るい被写体である。	❷ フラッシュを強制的に発光させたい場合は強制発光モードにしてください。	P.37

こんなときには…	原因	こうしましょう	参　照 ページ
液晶モニタ上で再生ができない。	① 撮影モードになっている。	❶ モードダイアルを ▶ にセットしてください。	P.49
	② カードに画像が記録されていない。	❷ 液晶モニタに「NO PICTURE」と表示されます。撮影してから再生してください。	P.49
	③ カードに問題がある。	❸ エラー表をご覧ください。	P.21
液晶モニタが見にくい。	① 液晶モニタの輝度の設定が適切でない。	❶ 液晶モニタの輝度調節をしてください。	P.63
パソコンとつないだとき、データ転送中にエラーメッセージが出る。	① ケーブルが正しく接続されていない。	❶ 正しく接続されていることを確認してください。	P.79
	② カメラの電源がOFFになっている。	❷ 電源をONにして、外部接続 モードにしてください。	P.80
	③ 電池がない。	❸ 新しい電池を入れるか、ACアダプタ(別売)をお使いください。	P.16 P.17
	④ パソコンのシリアルポートが正しく設定されていない。	❹ パソコンでシリアルポートが正しく設定されていることを確認してください。	

画像の出来が良くない場合

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
ピントの合っていない写真ができた。	① シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった。(カメラぶれ)	❶ カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押してください。	P.23
	② ピントを合わせたいものが、オートフォーカスマークからずれてしまった。	❷ ピントを合わせたいものを画面中央に持ってくるか、フォーカスロック撮影を行ってください。	P.27
	③ レンズが汚れていた。	❸ レンズをきれいにしてください。	
	④ 使用しているモードが違っていた。	❹ 0.2〜0.8m以内に被写体がある場合はマクロモードを使い、それ以上の場合は通常モードを使ってください。	P.29 P.40
	⑤ セルフタイマー撮影で、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。	❺ カメラの前に立たず、ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを押してください。またはリモコンをご使用ください。	P.42 P.43
	⑥ マニュアルフォーカスで被写体距離を確認せずに撮影してしまった。	❻ マニュアルフォーカスの合焦距離範囲で撮影してください。	P.41

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
できあがった画像が暗い。	① フラッシュを指などで覆ってしまった。	❶ カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気を付けてください。	P.23
	② 撮りたいものがフラッシュ撮影範囲よりも遠くにあった。	❷ フラッシュ撮影可能範囲内で撮影するか、外部フラッシュを使用してください。	P.34 P.38
	③ フラッシュモードが発光禁止になっていた。	❸ フラッシュのモードを確認してから撮影してください。	P.37
	④ 逆光状態で小さい被写体を撮影した。	❹ フラッシュのモードを強制発光モードにセットするか、スポット測光モードにして撮影してください。	P.37 P.33
できあがった画像が明るすぎる。	① フラッシュモードが強制発光になっていた。	❶ 強制発光以外のフラッシュモードを選んでください。	P.37
	② 高輝度の被写体に向かって撮影した。	❷ 露出補正をするか、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。	P.30
室内で写した写真の色がおかしい。	① 照明の色が影響した。	❶ フラッシュのモードを強制発光にセットして撮影してください。	P.37
	② 被写体に白い部分がなかった。	❷ 画角に白い被写体を入れて撮影するか、照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.47
	③ ホワイトバランスの設定を間違えた。	❸ 照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.47
画像の一部が欠けてしまった。	① レンズに指やストラップがかかってしまった。	❶ カメラを正しく構え、レンズに指やストラップをかけないように気を付けてください。	P.23
	② 撮影距離が近かった。	❷ 液晶モニタを使ってください。	P.26

アフターサービスについて

■ 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上大切に保管してください。

■ 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または裏表紙の当社サービスステーションにご相談ください。使用説明書等にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満一ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

■ 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

■ 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間を目安に当社では保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店また、お近くの当社サービスステーションにお問い合わせください。

■ 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。

■ 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。

液晶画面とバックライトについて

■ 本製品のコントロールパネル、及び液晶モニタに使用されている液晶画面のバックライトの蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらつき始めたら、当社サービスステーションにお問い合わせください。（修理は有料となります。）

■ 一般に低温になるにしたがってバックライトは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したバックライトは、常温に戻ると回復します。

■ 本製品の液晶画面は精密度の高い技術でつくられていますが一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶画面の構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

画像ファイルの互換性について

C-2000ZOOMで撮影した画像を他のオリンパスデジタルカメラで再生・印刷する場合及び他のオリンパスデジタルカメラで撮影した画像をC-2000ZOOMで再生・印刷する場合は、以下のような制限がありますのでご注意ください。

C-2000ZOOMで撮影
他のカメラで再生・印刷

他のカメラ	液晶モニタ再生	ダイレクトプリント (P-300/P-150接続時)
C-900ZOOM	×	×
C-830L	×	×
C-840L	×	×
C-820L	×	×
C-420L	×	×
C-1400XL	×	×
C-1400L	×	×
C-1000L	×	×

他のカメラで撮影
C-2000ZOOMで再生・印刷

他のカメラ	液晶モニタ再生	ダイレクトプリント (P-300/P-150接続時)
C-900ZOOM	○	○ 注1
C-830L	○	○ 注1
C-840L	○	○
C-820L	○	○
C-420L	○	○
C-1400XL	○	○
C-1400L	○	○
C-1000L	○	○

注1：非圧縮TIFFで撮影した画像は印刷できません。

主な仕様

形式 ：デジタルカメラ(記録・再生型)

記録方式 ：デジタル記録
(カメラファイルシステム規格 Design rule for Camera File system に準拠する JPEG、及び TIFF非圧縮)

記録媒体 ：3.3V スマートメディア
2MB、4MB、8MB、16MB、32MB

記録コマ数 ：1枚 (TIFF非圧縮モード／8MBカード)
7枚 (SHQモード／8MBカード)
15枚以上 (HQモード／8MBカード)
38枚以上
(SQモード(XGA)／8MBカード)
122枚以上
(SQモード(VGA)／8MBカード)

消去 ：1コマ消去、全コマ消去

撮像素子 ：1/2インチCCD固体撮像素子
：211万画素(総画素数)

記録画素数 ：1600 X 1200 ピクセル
(TIFF非圧縮・SHQ・HQモード)
：640 X 480 ピクセル
(SQモード、VGA)
：1024 X 768 ピクセル
(SQモード、XGA)

ホワイトバランス ：フルオートTTL、
プリセット(昼光、曇天、白熱球、蛍光灯)

レンズ ：オリンパスレンズ 6.5 〜 19.5mm、F2.0 〜 2.8、6群8枚(35mmフィルム換算35 〜 105mm相当)

測光方式 ：撮像素子によるデジタルESP測光方式、スポット測光

露出制御方式(撮影モード)
：プログラム自動露出(AE)
：絞り優先AE
：シャッター優先AE

絞り ：**W** ： F2.0 〜 F11.0
：**T** ： F2.8 〜 F11.0

シャッター ：1/2 〜 1/800秒
(メカニカルシャッター併用)

撮影範囲 ：0.8m 〜 ∞(通常モード)
0.2m 〜 0.8m(マクロモード)

ファインダー ：光学実像式ファインダー(オートフォーカスマーク/逆光自動補正マーク)、液晶モニタ

液晶モニタ ：1.8インチTFTカラー液晶
(低温ポリシリコン)

モニタ画素数：約114,000画素
オンスクリーン表示：日付時刻、コマ番号、プロテクト、画質モード、消去方法の指示、電池残量表示、メニュー設定、画像情報表示、プリント予約、他
フラッシュ充電時間：約6秒(常温時、新品電池使用)
フラッシュ撮影範囲：**W**：約0.8m〜5.6m
：**T**：約0.2m〜3.8m
フラッシュモード：オート発光(低輝度時自動発光、逆光時自動発光)、赤目軽減発光、発光禁止、強制発光
コントロールパネル表示
：画質モード、撮影可能枚数、カード警告、フラッシュモード、セルフタイマー／リモコン、電池残量、連写、マクロモード、カード機能、露出補正、スポット測光、マニュアルホワイトバランス
オートフォーカス：TTL方式AF
コントラスト検出方式／
焦点調節範囲：0.2m〜∞
セルフタイマー：作動時間約12秒
外部コネクター：DC入力端子、
データ入出力端子 (RS232C)、
ビデオ出力端子 (NTSC方式)
日付・時刻：画像データに同時記録
自動カレンダー機能：2030年まで自動修正

カレンダー用電源：本体電源と共用(内蔵キャパシタによるバックアップ付)
ダイレクトプリント
(専用プリンタでダイレクトプリント可能)
：1枚プリント、インデックスプリント、予約プリント、4分割プリント、16分割プリント、クローズアッププリント、転写プリント、日付入プリント、カード予約
カード機能(機能付スマートメディア使用時)
：パノラマ合成、テンプレート合成、カレンダー合成、手書きタイトル合成
使用環境
温度：0〜40℃(動作時)／
－20〜60℃(保存時)
湿度：30〜90%(動作時)／
10〜90%(保存時)
電源：単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本。単3マンガン電池は使用できません。
大きさ：幅107.5mm×
高さ73.8mm×
厚さ66.4mm(突起部含まず)
質量：305g(電池／カード別)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社

〒163-8610 東京都新宿区西新宿1の22の2 新宿サンエービル

カスタマーサポートセンター (製品に関するお問い合わせ)

Tel. 0426 (42) 7499　　Fax. 0426 (42) 7486

営業時間　10：00 ～ 12：00
13：00 ～ 17：00（土・日・祝日及び弊社定休日を除く）

※オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp でデジタルカメラ及び関連製品の技術提供をしております。

国内サービスステーション（修理受付窓口）

※土・日曜、祝日および年末年始は原則として休みます。オリンパスプラザは土曜も営業しております。

東　京　〒101-0052　千代田区神田小川町1の3の1 小川町三井ビル
(オリンパスプラザ内)....Tel. 03(3292)1931

札　幌　〒060-0034　札幌市中央区北4条東1丁目 2の3
札幌フコク生命ビル ....Tel. 011(231)2320

仙　台　〒980-0811　仙台市青葉区一番町1の3の1
日本生命仙台ビル ....Tel. 022(225)6821

(1999年4月下旬から)

仙　台　〒981-3133　仙台市泉区泉中央1丁目13の4
(仮称)エクセルビル3F..Tel. 未定

新　潟　〒950-0087　新潟市東大通り2の4の10
日本生命新潟ビル ....Tel. 025(245)7337

松　本　〒390-0815　松本市深志1の2の11
松本昭和ビル................Tel. 0263(36)5331

名古屋　〒460-0003　名古屋市中区錦2の19の25
日本生命広小路ビル ....Tel. 052(201)9571

金　沢　〒920-0961　金沢市香林坊1の2の24
千代田生命金沢ビル ....Tel. 076(262)8257

大　阪　〒542-0081　大阪市中央区南船場2の12の26
オリンパス大阪センターTel. 06(6252)6991

高　松　〒760-0007　高松市中央町11の11
高松大林ビル................Tel. 087(834)6166

広　島　〒730-0013　広島市中区八丁堀16の11
日本生命広島第2ビル..Tel. 082(228)3821

福　岡　〒810-0001　福岡市中央区天神1の14の1
日本生命福岡ビル ....Tel. 092(761)4466

鹿児島　〒892-0846　鹿児島市加治屋町12の7
日本生命加治屋町ビル ....Tel. 099(225)1105

沖　縄　〒900-0015　那覇市久茂地3の1の1
日本生命那覇ビル ....Tel. 098(864)5396

1AG6P1P0574　　VT043100